京城日報
一日夕刊

大正六年七月二日（月曜日）　THE KEIJO NIPPO　（一）
明治三十九年九月十日第三種郵便物認可
年中無休刊（日曜日翌日休刊）

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
印刷人 小川三之介

# 第卅九回特別帝國議會

## 衆議院（卅日）

### 彈劾討議（承前）

▽尾崎行雄氏 「國民の議論は掃蕩の價値なきを以て直ちに本案贊成の意見を述べん閣氏は內閣を覆す能はざる故暫く監視すべしと言ふも是れ降參せる事を白なしく述ぶるものなり臨時外交調査會は國務大臣以外に輔弼機關を設け明かに憲法の精神に悖るものなり外相は既に外交の事は皆其の方寸にありと言へり然も今や斯かる機關に制肘され同會の一書記長として甘ずる之れ本野君一人の恥辱のみにあらず斯かる官規紊亂に等しき機關を設けて何の官紀振肅ぞ又寺內首相は支那を誘掖指導すと言へり之れ獨立國に對して用ひ得る語なるか」と叱咤すれば議場は「厚顏無恥」「恥を知れ」等の罵聲喧々囂々尾崎氏壇上に立ち往生する事少時、議長を顧て整理すべしと言ふや議長は「餘計な事は仰せらるゝな」と叫び又「議長公平」と叫ぶ者あり議長は議院規則第十二條を引例し更に尾崎氏に對し不謹愼の語を愼むべしと告げ議場に靜肅を求めたれど議場の紛亂容易に止まず尾崎氏は次で選擧干涉の事に及び「一郡長に至る迄政爭の渦中に投せしめ前科者を候補に推薦せる文相あり」と岡田文相の松浦五兵衛に與へたる推薦狀を朗讀せんとするや政友會側より「大隈內閣は何うか」「貴樣に其れを言ふ資格なし」等と怒號紛糾して尾崎氏又もや空しく演壇に佇立する事數分坂口仁一郎（憲政）松浦五兵衛氏（政友）等切りに議場の整理を議長に迫る軈て尾崎氏は更に進んで地中海遣艦に就て論じ「惟ふに開戰の動機は日英同盟條約に準據せるものなるは必然の事なり然らば戰局は印度洋以東に限らるべき筈にて地中海は同條約範圍外なり然らば我が海軍力は其れだけ空しく減耗して忠勇の士を失ひ徒らに英國艦隊の減耗を補塡しつゝあるものにあらずや余は帝國將來の爲め外相に警告して將來の過なからしめんとす」と述ぶるや齋藤珪次氏より「不信任の內閣に警告する必要あるか」と大喝し滿場騷然たり（一日午後二時半着東京特電）

◎工廠期成會（運動） 砲兵工廠期成會は一日午後二時より平壤商業會議所に於て支廠設置の時期切迫せるを以て最後の運動方法を講ずべく協議會を開けり會議の結果有力なる有志の上京を見るに至るべく觀測せらる（平壤特電）

◎山田中佐歸鮮 今回新設せらるべき朝鮮兵器製造所長に內定せりと傳へらるゝ朝鮮陸軍兵器支廠長陸軍砲兵中佐山田與吉氏は三十日入港の陸軍御用船琴平丸にて來釜同夜十一時發列車にて龍山に歸任せり（釜山特電）

◎廣瀨主計監動靜 來釜中なる廣瀨軍經理部長は一日午後馬山鎭海に向へり（釜山特電）

◎連絡船不著 一日朝入港すべき櫻丸は入港すべき模樣なき爲め午前十時三十分發列車を三十分延刻し十一時發車したれども尙聯絡客及び郵便を搭載せず（釜山特電）

◎駐支外國兵數 最近の調査に據れば目下北京及び天津、京奉沿線等に駐屯せる外國兵數は左の如し（北京）

▲北京交民巷 印度兵百二十餘名、日本兵四百五十餘名、佛國兵四十名、和蘭兵六十七名、露國兵六十餘名、米國兵二百八十餘名、英國兵二十餘名、伊太利兵三十餘名▲豐台停車場 印度兵將校一名卒二十名、郎坊停車場同二十名▲楊村 日本兵三十名▲天津 米國兵五百三千餘名、印度兵六十餘名、日本兵五百八十餘名、佛國兵百七十餘名、伊太利兵三十餘名、英國兵十六名、露國兵二十名▲天津總停車場 日本兵十五名、同露兵二名▲塘沽停車場 日本將校二名兵八名、佛國將校二名安南兵二十名、和蘭兵二名▲唐山停車場 米國將校二名、兵二百名▲漢沽停車場 米國將校一名、露員一名兵十名▲北塘沽安南兵三名▲灤州停車場 日本將校一名兵十五名、通信兵五名▲雷莊停車場 米國將校一名兵二十六名▲打把 米國將校六名兵二百四名▲山海關四砲臺 日本兵三十餘名▲臨楡縣南關 日本憲兵四名▲秦皇島 米國將校十名兵六十名

◎銅貨激減救濟 奉天商總會にては現下奉天市中の銅貨激減して商民の苦痛大なるより去月二十五日張省長に對して之が救濟方を出願したるが張省長は直に王財政廳長を招きて其救濟を商議し應急策として銅貨の價格を改定し同十一個を以て一角となし一方財政廳保管の銅貨三十萬元を發給して市面の圓滑を圖る事とせり（奉天）

◎山東省民慘狀 山東省は旱魃の爲め赤地千里の慘狀を現はし特に膠州以東は光景最も悲慘にて數百千の老幼は壯者に助けられつゝ相踵いで鄕里を去り中には生後數月の赤兒を途上に委棄する者すらあり依つて芝罘商會は濟南商會と之れが救濟に就きて協議し目下義捐金を滿洲其他各方面に募集中なり（濟南）

◎朝鮮郵貯現計 六月末に於ける朝鮮郵便貯金の現計を前月末に比し金額約三十餘萬圓を增加し一千零八十七萬八千圓の新記錄を作り預入人員は百十萬五千九百五十七人を示せり而して右の內內地人は二十五萬四千五百四十人金額は百七十三萬一千八百六十一圓にして朝鮮人は八十六萬一千四百十七人金額二百十四萬六千六百三十一圓なりと

# ◎東拓と鮮銀の提携

## 會社の滿蒙進出に伴うて

特別議會に提出され居る東拓改正法案の通過實施を見れば其の結果として東拓會社は滿蒙に進出し其拓殖の任に當る事は屢報の如し而して右の內東拓が滿蒙に於ける▲不動產金融 機關たり又拓殖業務を營む事は改正法案の主要なる點にして會社は大隈內閣時代計畫されし滿洲銀行の機能以上に活動せんとの意圖を有し居るに似たれど土地家屋に對する資金の貸出しは之れを商業資金に比すれば非常の困難あり現に各般の事情よく知了され居る朝鮮にさへ東拓が設立以來殆んど九星霜相當の努力を農工資金の供給に試み居るに拘はらず尙ほ七八百萬圓を相往來するの實情にあるより見るも不動產金融上朝鮮に比し困難の度の一層多かるべき滿蒙に於て其營業上各種の障碍あるは多く云ふを俟たず現に不足ながら滿洲に於ては正金銀行が政府より低利資金の融通を得て所謂▲特殊貸附と稱し數年不動產金融を營みつゝある事實もあり旁々東拓も滿洲進出當初より道其立て々東拓を花々しく多くの機關を滿蒙の要地に羅布せしむる事は其廣告並に政策上より見ればとるべき點あらんも實質上より云へば之等の營業方針は避くるを賢なりとすべし依而東拓は滿蒙進出確定後も其の出張所は先づ奉天大連の二箇所位に留むべく其他は多年密接の關係ある朝鮮銀行と提携し其の多くの支店出張所をして東拓の代理貸附機關たらしむるに至るべく鮮銀東拓の最高幹部間の協定は既に成立し居る由此點に於て▲東拓金融部長 高瀨理事が鮮銀出身なる事は非常の便宜なるに似たり尙ほ鮮銀が滿洲に於て東拓金融部の代理貸附を取扱ふ事は別に鮮銀法の改正を要せず朝鮮總督の命令にて之れを實行し得る由

◎造船規程改正と朝鮮 今回朝鮮總督府令を以て朝鮮造船規程の改正せられし事は既報を經しが其の改正に付遞信某當局の談によれば朝鮮造船規程は內地に於ける造船規程の改正に伴なひ其の改正を行ひたるものなり但し目下の所朝鮮には本令に準據し得る造船所存在せざるため其の改正の影響としては船舶檢査上の標準を右規程により示すと云ふ外何等重要の意義を有せずとの事なり

◎師團長出發 立花師團長は西鮮部隊檢閱のため一日午前九時二十分發列車にて參謀副官以下を隨へ西行したり

◎京畿繭販賣 京畿道蠶業共同販賣は豫定の通り六月三十日初回を龍仁郡に於て行ひたるが入札の結果特等一石八十六圓七十錢一等八十一圓七十錢二等七十九圓四十錢三等七十五圓四等六十六圓五十錢等外四十一圓三十錢の價格を以て取引せられたるが此の販賣量は特等十三石一等二十四石二等五十石三等三十五石四等十八石等外三十二石總量百七十二石、卽ち販賣總額一萬二千二百一圓五十錢に達せる譯なりと因に七月二日は漣川郡第一回分の繭共同販賣を行ふ筈

◎八副頭取の招待 入京中の露國立商業銀行副頭取ハッチンス氏は一日午後七時より朝鮮ホテルに大田鮮銀理事外高級行員を招待し晚餐會を催したり尙氏等は午後九時四十分發列車にて北行す

◎京城若葉會 京城若葉會の第二回例會は三十日午後七時より花月に開かれ會員の來會者七十餘名に上り會員の五分間演說其他餘興數番ありて頗る盛會裡に十一時散會せり當夜は會名に因みて花月三階大廣間の柱を青葉もて裝飾し會員は浴衣がけにて大に壯氣を發揮したり

◎露國民の向上 滿鐵哈爾賓出張所長庄司鐘五郎氏は耐川丸にて歸鮮したるが同地方に於ける露國民の近狀に就て語る處左の如し（大連通信）

▲委員會組織 露國革命以來の府は人民に自由を與へ各地に行政執行委員を置くべく命令し來りたれば哈爾賓市に於ては逸早く之れを組織し自己の立場を研究すると共に國家に對する義務に就て討議を重ねつゝあるが就中兵士勞働者男女學生商工業者等各階級にあつても共々委員會を組織し與へられたる權限に據りて各自團體の利害關係に付き熱心に研究し國家問題に至りては最も熱心にして夜を徹するも厭はざるの風ありされば各方面に於ても存外にも▲秩序整頓 して些しも無秩序無責任の弊風なく彼等國民が從來眠れるが如き狀態より覺て各自の責任を自覺し向上發展の域に向ひつゝあるは實に顯著の事實といふべし彼の國事犯により米國に追放せられたる露人の浦鹽に歸鄕するや一時頗る混亂を呈し極端なる社會主義を唱へ秩序を破壞せんとしたるものあれども浦鹽市及び哈市の執行委員は協議の結果彼等追放者にして眞の國事犯人は其の儘本國に送り其他の罪人は共に裁判所兵營に引渡すことに決議し危險分子の防壓に努め且つ東淸鐵道の機關手は危險分子の輸送拒絕を決議し以て忠實に國家の爲め秩序の維持に當りつゝあり▲健全なる國家 されば露國民が各方面に於て着々覺醒し從來の腐敗分子を一掃して新たに健全なる統一的國家を組織しつゝあるは掩ふ可らざる事實にして戰場に於ても戰に倦みたる露兵士を鞭撻し甚だしきは銃劍を執つて味方の腐敗分子と戰ひつゝある新兵あり故に遠からず腐敗分子は一掃せらるべく同國々民の前途は光明に照らされつゝあり之を無警察無秩序の如く云ひ觸らすは甚だしき誤謬なりと云へり

◎降雨と挿秧（慶北） 大邱附近に於ては去る二十七日より二十九日に亙り斷續して降雨あり雨量六十七粍三に達し爲めに農民は二十八日より俄に挿秧に著手し目下麥を刈り殘したる田を除くの外何れも挿秧の最中なれば來る五日頃までには約九分通りを終るべく今回の降雨に依り水分の不足を訴ふるが如き恐れはなきものゝ如し（大邱）

◎濃霧と連絡船 南鮮沿岸に發生せる濃霧は雨季に入りて以來每日々々殆んど甚しく殊に釜山港內外には一層發生せる爲め每夜入港連絡船は定時入港を爲すこと能はず三十日の如きは出港新羅丸も濃霧の爲め一時間餘延發し入港對馬丸も午後八時には港口に達せしも遂に入港し得ず假泊して霧の晴るゝを待つ有樣なりき（釜山）

◎川添檢査官通過 來鮮中なりし會計檢査院副檢査官川添久重氏は石田書記を隨へ三十日朝京城より來釜同午前出港連絡船高麗丸にて歸東せり（釜山）

◎釜山埠頭滯貨 昨今朝鮮鐵道に由りて滿洲及び沿線各驛より釜山埠頭に到著する貨物數量は平均一日七百三十噸內外にして重なるものは大豆、大豆粕、牛骨、牛皮、穀類等にして連絡船に由りて內地へ輸送せる數量は一日平均九百噸なるを以て從來停滯せる貨物は六月中に一掃し得べき豫定なりしも其後時々奧地より不時に多數の出廻りありしより今尙ほ約五千噸の停滯貨物を存じ目下の狀態にては暫らく減退を示すことなく殊に昨今海上濃霧の爲め入港遲延し積込時間を減せること甄々たるを以て目下の停滯貨一掃の期は全く見付くること能はずと（釜山）

# 湖西より

五道踏破旅行記者 李光洙

◇有志訪問の顚末は、別に取立てゝ申すべきことも無之候へ共、金甲淳君の活動的なるは、大いに推獎に値すと存ぜられ候。君は鳥致院より公州に至る、及び公州より論山に至る自動車の經營者にして、此の外にも事業經營力に乏しき朝鮮人には拔群と申すべく、其の他にも公州の市場及び灌漑等に大いに盡力されて、南切つての有力なる實業家たるの名に恥ぢず候。金君は京城方面旅行中にて、面會の機を得ざりしは遺憾至極に候。◇徐漢輔氏を始めとして、三人の此地有志に面會したるが、尤も小生の注意を引きたるは、徐老人を除くの外、二人共和服を著し、日本式の生活をなすことに候。殊に李顯周氏等は子女を悉く尋常小學校に送り、家庭內にても小使にまで日本語を使用す候。小生の質問に答ふるにも、必ず日本語を以つてし小生も日本語にて質問するの已むなきに至り候。さして流暢なる日本語にもあらねども朝鮮語にては氣が澄まぬものと見え候。◇小生が投宿したるは朝鮮の宿屋なるが、宿泊人なると訪問客なるとを問はず、大抵は浴衣下駄の扮裝にて言語を交はして始めて其の朝鮮人なるを知る位に候。◇我社通信員中津君は、當地に約十年間居住せらる由なるが、君の談によれば、十年前と今日とは丸で別世界の感あり、髷のみの公州が、將に下駄の公州に變はりたるは、實に滄桑の變とは申すべきにや、感慨無量に候。◇今朝は中津君に案內され、雨を衝いて錦江及び山城公園を觀覽致候。昨夜の豪雨にて、錦江も多少の增水を見たるらしけれども、未だ船を浮ぶるに至らず。拱北樓上に立ちて細雨中の錦水を眺むるも一興にて候。昔つて忠淸道の總本山たりし山城の靈隱寺を尋ねて、古朴なる數幅の佛畫に懷古の情をそゝり、踵を轉じて李适の亂の駐蹕地たる雙樹亭に徘徊すること少時、所謂公の字形に廻れる山峽中の小都を一眸に收め、今にも崩れんかと覺ゆる鎭南門を出でゝ此の由緒ある古城を辭し申候。夕陽に當地を去り、扶餘へ向ふべく候。匆々不一（廿六日公州より）

## ◎淸津

▲淸津通過貿易 五月中淸津港通過貿易は輸出間島仕出三萬九千九百二十九圓輸春仕出七千三圓計四萬六千九百三十二圓輸入間島仕向四萬四千七十圓輸春仕向四萬九千九百六十二圓にして六年同期に比し輸出三萬三千百六十四圓輸入四萬三千八百十六圓を何れも激增を示せり而し輸出重要品は豆類粗銅等にして輸入重要品は粗布木綿絲類砂糖等なり▲城津近海漁業 咸北城津近海の漁業は本春來角網輪網の大敷漁場其他各角網場は何れも鰊漁に相當の成績を擧げたる爲め漁業者は俄に活氣付き鰊漁を當込みて大敷、角網、巾著網等各種の漁業を開始するもの續出し久しく不振裡にありし漁業界は近來稀に見るの盛況を示せるが既に鰊漁期にも入れるを以て益々活況を呈しつゝあり尙ほ城津は從來漁獲物の販路に苦み多くは鹽漬として他に搬出せしも近來奧地鑛業の發展に伴ひ生魚の需要多き爲め從來の如き不便を見ざるに至れり▲豆滿江架橋計畫 北間島間交通の衝に當れる會寧豆滿江の渡船場は渡船賃高きのみならず渡船の爲め時間を要する事甚だしく交通を阻碍するもの多あるより會寧在住內地人及び間島支那側有力者間に架橋の計畫あり尤も架橋は雨季河水氾濫の場合をも顧慮せざるべからず隨つて多額の經費を要するより船橋を可とすとの說もありと▲聯隊第二期檢閱 羅南步兵第七十三聯隊にては二十五日より七月十日迄に亙りて第二期檢閱を執行する事となりしが羅南部隊は廿五六の兩日間に終了し國境第一線部隊は廿八日より初め漸次庫頭、新阿山、鍾城、穩城、茂山、會寧の各部隊を檢閱の筈にて山田聯隊長は廿六日夜雄基に向へり

## ◎公州

▲苧布品評會 忠南苧布の產地たる扶餘舒川靑陽保寧四郡の苧布組合長及び同主事は二十五日忠南道廳內の忠南苧布組合聯合會事務所に參集し事務打合の上陰曆八月十五日の齊盆を期して組合の中央たる扶餘郡鴻山に於て忠南苧布品評會を開催し組合員生產の苧布の外汎く內地支那朝鮮各地に於て生產する苧麻布をも蒐集縱覽せしむる事に決したりと▲豪雨 春季以來の旱魃にて既に挿秧季に際したるも用水不足の爲め補付不能にて一般に憂慮し居たるが二十六日夜來の豪雨にて皆々愁眉を開き各方面共一齊に補付に取懸れり▲道郡參事會 忠淸南道に於ては七月九日十日の兩日に道長官統裁の下に道郡參事諮問會を開催する事に決したり▲地久節 廿五日愛國婦人會公州支部に於ては地久節奉祝の微意を以て鳳山俱樂部に家族會を開催したるが午後一時開會と同時に上林道長官は一場の挨拶をなし次に秋田慈惠醫院長は衛生及び救急療法に關する通俗講話あり終りて直に餘興に移り茶菓の饗應ありたるが別室に於ては道長官栽培の百合並に生花盆栽等十數鉢及び同夫人其の他の出品に係る苧布織物等を陳列して一般會員の觀覽に供したるが來會者七十餘名に達せり

## ◎大邱

▲學校組合議員會 大邱學校組合は二十七日午後一時より府廳會議室に於て評議員會を開催し大正六年度歲入出豫算追加の件を議し全部原案通り可決したる後第二小學校新築委員として增田、丸山、加藤、立木、流谷の五氏を選び尙ほ中學校設置建議案を提出して散會せり▲水稻改良稻作付反別 慶尙北道に於ける改良稻作付反別を見に日の出九百三十七町九反步早神力五萬三千五百十二町三反步穀良都五萬二千四百八十三町九反步合計十萬六千九百三十三町九反步にして豫想反別より增加すること約七千町步に達し本道全補付反別の七割一分に及ぶべしと▲高麗磁器社再興 高麗磁器製造株式會社は大株主徐相龍の倒產に依り約五年間を休業し不動產及び營業權は南鮮銀行の擔保となり居たるより競賣の結果其の所有權は全部鮮南銀行に移りたるが今回大邱在住の大邱同宮井正一氏等は新に其の事業の頓挫せるを遺憾とし再興の計畫にて鮮南銀行より建物竝に機械を讓受け近々事業を開始せしむる筈なりと▲金泉學校と移轉 金泉郡にては最近市街の膨脹に伴ひ兒童の增加著しく早晚現在の校舍にては狹隘を感ずべきを見越し位置を普通學校附近の國有地に轉ずると共に增築せんとの議起り居れるが一面には不便なるより反對說をなすものもあり目下寄々協議中なる由▲金泉新市場問題 金泉郡にては從來旭町に市場を有し居るが更に此の程金融組合の裏手なる新埋立地に此の市場を設置すべく決定し目下之れに穀物市場魚市場雜貨市場の中何れを置かんかとの問題に就き郡廳と憲兵隊と人民各々意見を異にし目下研究中なるものゝ如し

## ◎木浦

▲商議決算と叺問題 木浦商業會議所にては商業會議所令發布以來第一回決算報告會を開き大正五年度歲入五千二百五十一圓九錢歲出四千七百九十二圓一錢にて殘金四百五十九圓一錢は次年度へ繰越の件を決議し終了せしが閉會に當り米穀叺問題に付き協議し滿場一致を以て其不必要不便利不利益を稱へ四斗入叺に變更の件不贊成の意を表せしが近々米穀商會を開き協議の上相當の手段を執る事とし散會せり▲遠山技手 全南鯖漁撈試驗中の遠山水產課技手は同試驗に對する好結果を齎し上司に報告を兼ね上京せり

## 人事消息

▲松本實寺氏（鑛山業） 一日朝入京天眞樓へ
▲中村忠七氏（會社員） 一日朝退京
▲原鐵三郎氏（三井社員） 同
▲大月哲兒氏（浦潮貿易商） 同上
▲土地調査判任官一行六十一名 一日前平壤へ
▲小原農商工部長官 三日午後永登浦より入京

○○○○○○○○○○○○○○
第卅九回帝國議會召集の日　大塊
△京城へ
頃日畫春園に蛙鳴會ありしと聞いて
△東京へ
枝蛙又其庭に群れしとや　崖城
議場には除る蛙蝦の騒かな
○
鳴く蛙鳴かぬ蛙に雲動く　虎耳

# 京大相撲

## ＝三日目＝

### 午前中に大入 札止の好景氣

四日間を通じて勸進元が書入れにしてゐた日曜ではあり一日の事とて官廳銀行の勤め人は素より市中の商店その他の番頭小僧さんの類まで先きを爭つて詰めかけるために木戸には朝の程から人雪崩が絕えず押すな押すなの激しい勢に勸進元大當りといふべきだらう十二時過ぎには遂に一匹も入る餘地は無く全く大入札止となつた

### ▲火花を散した朝稽古 ▼土俵の花は誰

見物人が朝から一杯に詰まつて開場以來の好景氣だけに稽古も前日に增して一廚賑はつた何んと言つても土俵の花は伊勢の濱、黑瀨、瓢島、土州、紅葉川、若島、潮瀨川等で孰れも劣らず火の出るやうな申合ひに活氣を漲らせてゐた伊勢の濱は

◇相手選ばず 引張り出して打突かり合ひ相手をヘト／＼にせねば措かぬやうだつたが紅葉川や潮瀨、若島と十數番づつ申合ひバタ／＼倒して終つたのは盛んだつた、それも前川と同じく二時間餘りの立て續けの稽古に疲れが來たと見えて潮瀨川紅葉川などに

◇時々倒され ては土俵に坐り込んだのは愛嬌、土州山が土俵に出ると幕下の有望力士、鞍ケ嶽が一丁と叫んで土州と申合ふ、最初の一番は土州のものだつたが土州始めから調子を下ろしてゐたために鞍の方に下手投を打たれ寄切られ吊り出され押倒されて五六番

◇立てつゞけ に負けたのは鞍の元氣は素晴しいものだつた、鞍は大兵且つ若冠の際にその相撲振りは荒いもので、立合のハナにヤツトといふ矢聲と共に頭をつけて飛び込んで行く勢ひは惡んなものである

### ▲四日目の取組

(矢筈山 大打洋 (女の山 太刀嵐 (荒玉 玄渡 (四海洋 若見崎
(若島 潮瀨川 (紅葉川 瓢島 (土州山 黑瀨川 (伊勢濱 太刀山

本社番外お好み
(荒玉 矢筈山

日曜の雜沓 相撲場午前の光景

### ◎校長に辭職を勸告す

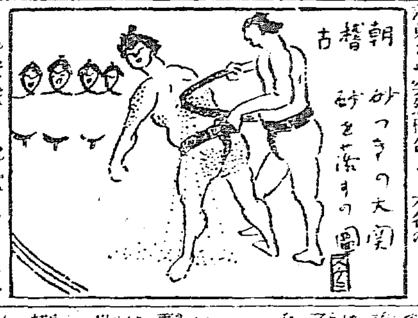
大阪商業學校生徒は英語教授中村千代之助氏が山口高等商業學校に轉任するに至りたるに對し片野校長の執りたる態度に誠意を缺くものありとし辭職を勸告せり(大阪特電)

### ◎脫營兵は結黨罪

既報の久留米野砲兵脫營兵は結黨罪に問はるべし(大阪特電)

### ◎哈爾賓の白晝強盜 十二萬留掠奪

六月二十五日午前十一時頃哈爾賓目拔の場所たるウチヤストコワヤ街とスクヲオツナヤ街との交叉點に於て近來稀なる拳銃強盜事件あり支那人豪商の支配人李某外一名が新市街露亞銀行より露貨十二萬留を受取り之れを五萬留と七萬留との二包にして各地に收めて一個宛携へ二臺の馬車にて歸路に就き前記の場所に差蒐るや突然橫合より六名の





▲露國人の兇漢 現はれ左右より其の馬車に乘り移り兩名に拳銃を擬し露人强盜の常用手段なる『手を上げよ』を命じ殆ど失神したる支那人の隙に乘じ電光石火的に件の鞄二個を强奪したる上被害者を蹴落して六名の賊は二臺の馬車に分乘し一臺はボリツエイスカヤ街方面に他の一臺はウチヤストコワヤ街方面に疾走せり程經て正氣づきたる支那人は狂氣の如く叫びつゝ賊の乘れる一臺の馬車を追跡したるに天の祐けか一臺の馬車はウチヤストコワ街とモストワヤ街との角にて馬車の前輪が破損して停車するに至り二名の賊は

▲件の鞄一個を 掻き抱きて何所にか脫走し他の一名の賊も鞄一個を抱へながら路上を疾走しつゝ拳銃を亂射したるが有繫に白晝の事とて蝟集せる彌次馬に遮られて遂に一名の賊は警官に逮捕されたり取調べの結果五萬留入りの分は發見押收されしが七萬留を携へたる他の曲者は遂に姿を晦まし引續き嚴探中なるが沿道の驛援名狀すべくもあらず哈爾賓に於ける近來の怪事件なりと(哈爾賓特信)

### ◎少女を喰物に 四人組の曲者

江原道通川郡生れの金成七(四□)は住所不定の崔彥根(三□)金鍾日(三□)李鍾根(三□)を手先に使ひ本年一月中慶南鎭海郡飛鳳里李致三方に金六圓を與へて長女順伊(一五)二女伊當(一三)を北鮮地方に誘拐して味を占めたるより其後同樣手段にて慶和里朴淑伊(四□)女□若(一七)申應吉養女福蓮(一三)の兩名を誘致せんとして發覺逃亡せしが成七は慮吉に金八十六圓を預けあるより之を受取らんと再度舞ひ戾りたる處を逮捕され取調の上檢事局へ送らる

### ◎拳銃強盜逮捕

平南平原郡漢川面池四洞韓利烈(三□)委在鳳(二□)韓融衛(三□)玄子成(三□)等は拳銃、棍棒等を携へ大正三年六月以降一團となりて平南、成南の兩道を荒し廻り利烈は平南永柔分遣所に捕縛されたるが擔房を破壞して脫走し殺人、強盜、傷人等兇暴を逞ふし數十箇所の農家運送船等を襲擊し本年五月中元山附近にて逮捕され此程咸興地方法院の公判に附せられたり

### ◎弟の家に放火

平壤巡營里魚行商李聖秀(三□)は去る廿一日弟たる水玉里金達秀方に赴き僅かの事より喧嘩となり李は弟の金より左頰を毆られたるを痛く憤慨し恨を晴らさんと同家西方炊事場の軒端に積みありたる薪束に燐寸を差込みて放火し遂に同家を全燒せしめたるより平壤署に逮捕さる

### ◎漢江岸を徘徊

二十九日午後十時頃龍山漢江岸を怪しの朝鮮婦人が徘徊し居るを巡邏中の龍山分隊の憲兵が發見し取調べの結果京城花園町李柱彬の娘李守源(二八)と言ひ漢江に投身して自殺せんとしたる旨申立てたるが保護を加へ實父を呼び出して引き渡さる

### ◎誘拐

慶南東萊生れ仁川松林里居住權貴璡(三五)釜山生れ仁川松林里居住李姓女(六□)の兩名は共謀し昨年十二月中釜山凡一洞李極魯方に到り次女李根善(一七)に仁川に行けば良縁あり生活容易なりと欺きて本年一月一日仁川に誘拐し富川郡菩丁目遠足里玄泄芙の妻として金四十六圓に賣却交付したること發覺して檢擧され兩名は此程京城地方法院の公判に附せられたり

### ◎危險い鍼術師

平南德川郡蠶上面洞坪里賣藥商朴允祥(七三)は久しき以前より無免許にて醫療鍼術を

### ◎人の衣類で遊興

愛知縣額田郡美谷村生れの合栗田常太郎(三□)は全南和順居住知人豐田某が光州に出張中同人を訪問しての歸途衣類二點(三十八圓)を窃取し之れを入質して光州館にて豪遊中を光州署に逮捕さる

### ◎妻を縛り上ぐ

忠南公州郡新上面立石里農朴性鉉(三□)は妻朱姓女が本年三月二十五日以降無斷家出したるより關係男あるものと邪推し五月十日朱姓女を繩にて縛り上げ棍棒にて兩脚の間を捻ね廻したる上燒鏝をあて身體數箇所に治療二週間を要する創傷を負はせて檢擧され公州地方法院にて懲役六箇月の判決を受けしを不服とし京城覆審法院に控訴し前判決を取消し改めて懲役六箇月の處分となれり

### ◎通帳を變造

京城北米倉町木炭商金商成(四□)は本年四月以降京城郵便局に貯金し拂戾して殘額十錢の通帳を所持し居る內拂戾したる八圓四十錢の文字の八の字を百の字に變造し太平通二丁目金俊煥を介して之れを擔保にして同町質屋李起鉉に借金を申込み百餘圓の貯金あるが如く裝ひて起鉉より金三十圓を騙取したる一件は此程京城地方法院の公判に附せられたり

### ◎手の長い妾

京畿道水原郡八灘面海倉里飲食店李鍾夏妾高貞淑(一七)は五月十日夜長安面篤亭里李元根が飲酒の上同衾したる際其の所持金三百七十七圓を拔き取りて逮捕され水原支廳にて懲役八箇月に處さる

### ◎須磨子元山乘込

松井須磨子一行の藝術座は七月三四の兩日元山座に於て興行すべし(元山特電)

### ◎血を見るまで 淪落女の末路

◇◇◇半生を語る八雲翠◇◇◇

▣いさ子が榮山浦の『日の出館』に現はれたのは、彼女が淪落の淵に足を踏み込む抑もの第一步と云つても好い、名こそ藝者ではあつたがその頃のいさ子、即ち一六は三味も引けなければ踊もろく／＼知らなかつた、唯例の『雷鳥』や『文藝談』でお客を煙に捲く位が關の山で、强ひて、心意氣を所望されると、しやう事なしに八雲琴を持出て掻き鳴らしたものである

▣八雲琴!!彼女の前半生は總てこの八雲琴が解決する、言ふまでもなく彼女は相當の良家に生れたのである乳母や日傘で育てられ、紫の色も床しい袴を臙脂く結んで女學校の門を潛つたといふのも決して根據のない事ではない、若し此の世の中に運命といふ惡戯者がゐないものならば、彼女も今頃は、恐らく樂しい家庭の人となつて『所謂『母』といふものになつて居たかも知れぬけれども自由にならぬが浮世とさへ云ふ、殘酷な運命の魔の手は彼女を散々翻弄した上『意外な方面へ拉し去たのである。

▣その後彼女は兩親に死別れ、叔父にあたる某醫學博士に引取られたが燃ゆるやうな青春の熱情に驅られて或る青年と戀に落ちたのが幸か不幸か、叔父に知れ『不屆な奴』と小酷く叱かられた揚句『行儀見習として北鮮の某高等官の家庭に送られたのである、居は心を移すとやら——初めは物狂はしいほどの憂欝に味氣ない日を送つてゐた彼女も、北鮮の風物に馴れるに從つて、忘るともなく初戀の樂しい夢を忘れて了ひ、再び元の健全な心に返つたが、飽迄運命の神に呪はれた彼女は、その後一兩年を經て、嫌つて嫌つて嫌ひ拔いた男から結婚を迫られ、終には沒義道に脅迫せられたことを、乙女心の一筋に思ひ詰め、前後の辨へもなく一夜、北鮮の荒ぶる海に身を投じたのである。(つゞく)

### 讀者文藝 (一等に五十錢 二等以下粗品を呈す)

△川柳『用』

○荊妻はいつも追而で用を足し (一等) 京城 しげる

△用心に置いた男に盜まれる 仁川 龍舌合

△自用車夫引ずる妻の行き處もあり 京城 上田生

△用のない運良もある探偵院 金泉 楓疎 浪香

### ◎鍋に祟らる

全南高興郡古邑面豐南朝鄉 回漕店塚本常太郎方雇人前科二犯八幡辰一(二八)は本年一月八日朝鮮船統營丸より貨物數十個を陸揚げしたる中に出荷人及び荷受人不明の梅鍋一梱二十個入が紛れ入り居たるを奇貨とし之を橫領の上全地雜貨商手錢春市(二□)に情を明かして賣却したることを高興分遣所の探知する所となり八幡を引致取調べたるに今は包む由もなく前記の次第を自白せしより業務橫領として光州地方法院に送られ尙手錢春市は贓物故買として同じく取調を受けつゝありしが此の程義一は懲役一年六月の言渡あり春市は追て判決ある筈

### ◎豪農賊を働く

慶南昌原郡熊川在住金鍾泰(三□)は同地方の資産家なるが同人は春蠶に要する桑葉の不足より本月上旬馬南植韓成律を使嗾し人夫十一名を引き連れ德山里所在關谷吉太郎所有の桑畑に入らしめ己れは附近道路に佇立して行通者の見張を爲し使役人夫を[illegible]と威迫したる上畑より[illegible]

### ◎病院荒しの賊

全南光陽郡光陽面生れ前科四犯吉春和(三□)は布一枚を窃取したるを手初めに所々にて惡事を働き龜山面禮谷里貨乘換[illegible]

[illegible]

〔讀者課題募集規定〕

[illegible]

天氣 [illegible] 曇り晴れ

■壹萬掛限り特に卸賣値段にて提供!!
■京都半襟卸問屋の空前の試み!!

半襟陳列即賣會!!

午前九時より午後七時迄
七月三日より同月五日まで(三日間) 京城ホテルにて開催

京都半襟卸問屋 寺田卸店
臨時京城出張所

宮內省御用酒

菊正宗

天下逸品の灘釀
販賣店到る處にあり

朝鮮發賣元 合名會社 本嘉納商店 釜山倉庫部
(電話四三一番)(振替京城二一七三番)

謹告

拜啓弊京城支店儀在京中は格別の御引立を蒙り難有御厚禮申上候豫而紙上にて廣告致置候通り同支店は六月限り引揚申候に付金儀其他御用の向有之候はば直接當方へ御申出被下度願上候
追而從來弊支店にて取扱致居候高麗人蔘は京城本町二丁目近藤貴生堂藥店にて取扱被致居候に付弊店同樣御引立の程偏に願上候 敬白

大正六年六月

平壤竹典里 板倉商店

今般板倉商店指導監督の下に高麗人蔘販賣致候間何卒倍舊の御引立の程偏に願上候尙弊店に於て朝鮮總督府蔘精京城一手販賣仕居候に付御用命被仰付度奉願上候 敬白

京城本町二丁目 朝鮮總督府蔘精販賣所 近藤貴生堂藥店 電話一三八番 振替京城七六一番

皮膚病藥

ホシセプチン

定價金十錢
▲いんきん ▲たむし、しつ ▲ひぜん、毛虱 ▲しらくも
東京市日本橋區[illegible]町三 三共株式會社 各地特約店及藥店にあり

特約店 京城府太平通二丁目三〇五 キムラ藥房

# ポンチ パサミシ 金の塊

東京から百里ばかり離れた田舎に小高い山がありました。

その山のてつぺんに、昔の昔の大昔から、大きな〳〵金の塊がありました。その金の塊は、むき出しになつてゐて、抱へて歸れば、直ぐに抱へて來れるところにあるのですが、昔からその金の塊を、山の上から持つて下りて、自分のものにしようとしたものは一人もありませんでした。

昔の人に、それでは、ちつとも欲がなかつたのかといふと、決してさうではありません、それでは金の塊が欲しくはないのかといふと、決してさうでもありません、誰だつて、その金の塊も欲しいのですが、慾もあれば、その塊を誰一人、自分のものにするために、その山のてつぺんから、持つて下りようとしたもののないのには深い〳〵譯があるのでした。

その譯は、どんな譯かと申しますと最初は誰でも、その金の塊を見て欲しくなつて、欲しくなつて堪らずに、自分のものにしようと思ひまして、その金の塊のあるところへ近づいてまゐります。ところがだん〳〵金の塊に近づいてまゐりますと、欲しくつて、欲しくつて、仕樣のなかつた金の塊が、不思議やちつとも欲しくも何ともなくなつてしまふのです。

『おかしいな。なぜ欲しくはなくなつたのだらう。をかしいな〳〵。』とか云つて、金の塊には手も觸れようとはしないで、ずん〳〵山から下つてしまひます。なぜさうなるか、それはどうしても分りません。たゞ金の塊に近づきさへすれば、慾も何にもなくなつてしまふといふのは、ほんとに不思議な〳〵話。

その話を聞いた東京の人達が五六人連れで、そんな馬鹿々々しいことがあつて堪るものかと云つて、わざ〳〵その山に登つて行つたこともありましたが、直ぐに山から下つてまゐりましたので、山の麓に住んでゐる人達が、

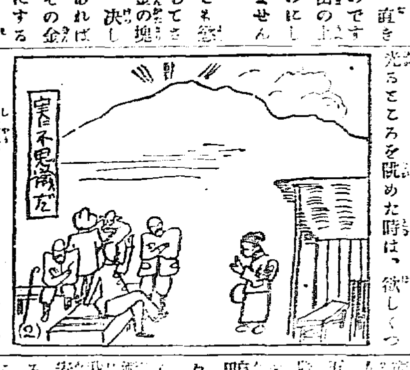
『いかゞでございました。金の塊はございましたか。』と云つて尋ねますと、

『あつた〳〵、あつたよ〳〵。』

『金の塊の傍まで行くと、少しも欲しいとは思はなくなつてしまつたでせう。』

東京の人達は頷いて、

『本當に不思議な金の塊だ。山のてつぺんに辿りついて、あのピカ〳〵光るところを眺めた時は、欲しくつて〳〵仕樣がない程だつたから、五人がゝりで持つて來る積りで、だん〳〵金の塊の傍へ近づいて行くと、行くごとに、だん〳〵慾氣がなくなつて、金の塊の傍へ行つた時は、何だこんなものが、持つて歸つて見たところで、一體何になるものかといふやうな氣になつて、直ぐに歸つて來たやうな譯さ。』と云つて、東京へ歸つて行つてしまひました。



何といふ不思議な金の塊だか、その金の塊は昔のまゝで、今もやはり、その山のてつぺんで、ピカ〳〵光りながら誰にも持つて行かれないで殘つてをりますとさ。物好きな人達は、一度は登つて、その金の塊を見物するのも面白からうではありませんか。

## 悲慘なる一家
### 妻を失ひ死兒を抱いて

本籍廣島縣御調郡吉和村七三六平民土工立石幸太郎三五年は妻某と共に昨年五月より平安北道江界郡實面當只里に於て安滿道路の改修工事に從事中妻某は昨年八月姙娠し先月二十日玉の如き男子を分娩したるが一週間目にあの世の人となつた幸太郎は最愛の女房に死なれ泣く〳〵野邊の葬りをなし嬰兒を抱へては土方稼も出來ざれば平壤に出て知人に事を訴へ我兒の振り方を附けて一人身となつて稼がんと決心し六月十五日江界を發し鴨綠江を筏に乘じて降りたるが男の身とて抱へし兒にミルクを與へるすべも不知筏の上より

### 鴨綠江の水を掬ひてミルクを溶解

して火の附く樣に泣叫ぶ我兒に與へ一週間の日數を費して漸やく安東縣に著きたる頃はいとし我兒は大熱を發し苦しむに詮方なく安東縣滿木病院に於て診察を受けたるが斯くて所持せる旅費も殘り少なに費消し僅かに平壤迄の汽車賃三圓をあますのみなれば病兒を抱へて食はず飮まずの汽車旅行をなし汽車が平壤驛に就きたる頃には愛兒は

### 飢と病に弱り果てたる結果竟に死亡

したり幸太郎は僅か半月足らずの內に最愛の妻と兒供を失ひたることゝて一時喪神の體なりしも汽車中のことゝて如何とも致方なく

### 小兒の死體を信玄袋に入れ

列車が平壤驛に著するや飢に疲れたる身體を鮮人宿迄運びて知人なる橋口町京谷商店の煉瓦工場に居る職人某に救助を求め少額の金員を惠まれたれば一應鮮人宿に立歸り死兒の始末をなさんと六月廿五日平壤警察署に出頭右の次第を落なく訴へたれば語合の警察官もそゞろ哀れを催し色々と世話し與へたる翌日漸く我兒を葬る事を得たりと(平壤)

## 傳燈寺詣で
朝鮮式山の主―熔塔の底―幹事の責任問題―コー教育の主張―現實暴露の悲哀―成功した復讐

葛芝面近くなると江華島の吉祥山と摩尼山とが千數百尺の高峰を雲の中に突込んでゐる萬石洞の說明に依ると摩尼山に大蛇の夫婦棲んで居たが一昨年の夏配偶が雷に打たれて死んだ爲め後に殘つた大蛇は

◇孤獨の哀愁に 堪へ兼ねて山を下つて『昧然し』と哭いて居たのを村人が發見したと言ふ、當時雷に乘じて天に登り龍に化す可き大蛇が徒に擊たれて死んだなどは如何にも朝鮮式で、此れでは幾千年間神秘的な傳說を生んだ山の神秘の値打も日本茶茶にぶち壊された譯である、[illegible]一行は[illegible]海岸を右傳ひに部落に入る、『君[illegible]と朝鮮人が騷いでるぜ』の[illegible]離れからか苦しい駄洒落を放したのを、きつかけに皮肉やアイロニーが猛烈に交換された、然して夫れ〳〵僅かの間で始くすると、[illegible]から焼きつける樣な

◇苦熱の爲めに 一人默し二人默し遂には永い〳〵惱い人生を、トボ〳〵歩いて居る敗殘者の群れの樣にみんなが默々として灰色の途を辿つた恁うなると疲勞と苦痛は加速度に加はつて來る者で、○氏が『誰だい恁んな處に連れて來たのは』と言つた滑稽も氣息奄々たりし苦熱行だけに深刻に響いて幹事の責任問題さへ起つたそしてドット笑つた時は幹事の胸の中では傳燈寺の偉大な景色に接して皆が

◇感嘆と感謝に 滿された時洗練された皮肉に依つて皆んなの感情を翻弄してやらう』と復讐の計畫がチャンと立てられてあつたのだ、兎に角熱い、背筋に沁み入る樣な汗が時々瀑布的に[illegible]つて過ぎるか、それが止むと心頭から火が發し相だ○コー教育の主唱者ケー幹事長は流石に元氣旺盛して居たがそれでも人間の生理組織と、[illegible]ろにして『各人の保健上絕對に水を攝らしめない』と言つた理想が現實生活にブツつかると

◇三文の價値も なくなる事に氣づいて現實暴露の悲哀を痛切に感じて居たらしかつた。斯くて一行は青田から村落へ、靜かな鷄鳴を聞き乍ら栗の花咲く林に出つ入りつ、囀ぎ乍らも農村の醇雅な風趣を味ひ乍ら正午頃傳燈寺に到著した、傳燈寺は德富先生の大文章に依つて天下に紹介せられた丈けに

◇山內の幽邃に して景勝眺望共に絕佳なる一行をして轉た羽化登仙の念ひあらしめた、山僧の案內で對潮樓に登り四方の眺望を恣にし萬斛の凉味を納れて居る時『誰れだい恁んな處に連れて來たのは』と幹事の一人が眉を鎖やかして言つた、ドッと崩るゝ樣な笑聲が神秘境の淸淨な氣を搖つた、さきの復讐は鮮やかにされたのであつた(續く仁川槿花生)

## 小農恐慌惹起
### 中農以上は金融潤澤なりと

仁川の勢力範圍たる黃海道延白郡より仁川某所に達したる近況報告に依れば同地方は昨年の收穫期に於ける穀價の騰貴にて小農の懷を暖めたるも最近に於ては持米殆んど無く麥秋收穫期迄の喰繋ぎに汲々たるさへあるに稀有の旱魃にて米價暴騰したる爲め恐慌を惹起し何れも不安裡に生活しつゝ有り、之れに反して中農以上は暴騰の影響を受けて金融潤澤となり居る模樣なるが本年農作物の凶作を豫想して穀物及び金融の融通をなさず爲めに小農以下は益々困窮に陷り居る者の如しと(仁川)

◉傳染病患者數 平壤府內に於ける傳染病初發以來漸次季候の變遷につれ患者數增加し來りたるが赤痢病初發以來一九名腸窒扶斯一名パラチブス三名デブテリヤ九名猩紅熱一名なりと云ふ(平壤)

◉本町署の電話增設 京城本町警察署にては三十日より公衆電話一千百五十番一個を增設して之を警保用とし又從來衞生係室には公衆電話なかりしが這回二百九十八番を主として衞生係用に使用すべしと

◉半襟陳列卸賣會 京都半襟卸問屋寺田商店は今回初めての試みとして最新柄一萬掛の流行の粋を集め來る三日より五日迄京城ホテルに於て半襟陳列會を開催する由なるが價格の如き卸賣値段約四割引の安價にて提供する筈なりと

## 諸の砂

■小學生五名負傷 靜岡縣志太郡大神村鈴木源一(一三)は二十三日薪の中から先頃父が山から拾つて來た猟捕りの爆藥を見附け出し外四名の學童と共に火に入れ叩いたので轟然爆發して五名は悉く重輕傷を負ふた

■壯丁の僞病 茨城縣[illegible]郡[illegible]村鈴木[illegible](二一)は徵兵檢査を逃れやうと其の檢査前に肛門に[illegible]を注いで[illegible]し夫れに[illegible]つて痔疾の如く裝ひ檢査官を欺かうとして看破された

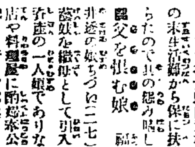
■六人斬死刑 茨城縣西茨城郡南山內村飽小池佐久(三四)は兄一家の財産を橫領すべく外三名を語らふて大正四年八月中兄一家の者三名を慘殺し三名を負傷せしめた事件で二十六日死刑を執行された

■元村長の慘劇 橫濱市[illegible]町二丁目炭屋の雇人山口平太郎(四二)は二十四日夜義弟なる神奈川縣愛甲郡[illegible]村農青木保(二〇)方に短刀を携へて踏入し保の妻きよ(二六)を刺し殺し長女(四つ)を人事不省に陷らしめた平太郎は元村長迄勤めた男だが放蕩の末生活難から保に扶助方を申込んで撥ねつけられたので其の怨み晴しをしたのだと自首した

■父を恨む娘 福井縣大野郡[illegible]町銀行員[illegible]の長女ちゞ(二七)は父が實母を離緣して後妻を繼母として引入れたのを恨んで數萬の資産の一人娘でありながら家出し各所の飮食店や料理屋に酌婦奉公してゐるのを父の搜索願ひに依り見附出された際父の懇ろなすかしをも認めて如何しても歸宅せぬ旨警察署に申述べた

■不思議の繭 德島縣板野郡[illegible]村[illegible]で飼育した春蠶一石三斗の中に中央に菊花の紋章の浮き出した繭が一個あつたので[illegible]として獻上方を願ひ出たと云ふ

## 其の日其の日 台所



▲美味しい糠味噌の拵へ方 糠味噌を拵へるには先づ鹽五六合と水八合とを鍋でよく煮立たし一夜置いたもので三升の糠をドロ〳〵にこね廻しまた瓶に入れます、糠味噌は新しく拵へる所は古いのを混ぜて置くと味がよくなります又魚の頭なぞの素焼、酒の餘つたの、魚の煮こゞりや殘飯を入れたりすると味が大層よくなります又新世帶などで糠味噌の早造りをするには初め古い澤庵を五六本入れて糠のまゝ入れると味が早くなれて來ますそれから瓜茄子大根等季節の野菜を漬けその處に鹽をふつて掻き混ぜます初めの內は鹽からくても十日位たつと古いのに劣らぬ美味しさになります糠味噌は一日に二三回も底からまぜ返し手入をしないと美味しくはなりません其家の糠味噌の味で主婦の氣質を知る事が出來るとさへ申して居ます

[illegible]を窃取し馬山分監に服役本年三月出監後右馬山及び昌原郡鎭北面地方を徘徊中五月二十七日亦々馬山病院へ忍び入り同病院助手方藤田光司の毛[illegible]錢及び三圓四十錢程の酒代滯りたるを手酷く數十回も催促されたるより自分は實は有名な強盜なれば餘り酷い催促などする時は後難あるべし[illegible]

●[illegible]客 六月三十日午前一時三十[illegible]出入港高麗丸一二[illegible]等客 一等なし、二等(十六名)水谷みよ、天野保一、淺田喜次、[illegible]

[illegible]一二等客 一等(五名)米國ハミルスン、同デルユーデー、同コールト、同ブチャーマン、同フリーン 二等(四十一名)熊丸徹、同千代、岡本いと、同賢一、同正雄、同智惠子、千葉義昌、同光枝、同有明、友杉やす、同榮子、同滿二、細川甚一、[illegible] 三等(百[illegible])

| | | |
|---|---|---|
| △『[illegible]と掛けて』 | 自二日 | 至三日 |
| △『一口噺共時々の事』 | 同三日 | 同四日 |
| △『下句付子を持つた』 | 同四日 | 同五日 |
| △謎める | 同五日 | 同六日 |
| △俗謠[illegible] | 同六日 | 同七日 |
| △川柳『[illegible]』 | 同七日 | 同八日 |

更に左記[illegible]表後一週間以內に[illegible]又は同[illegible]申告者には五十錢[illegible]券を呈す(但[illegible]何書何號と明記[illegible]日報社編輯局讀者係[illegible] ▲死名は京城[illegible]

豫報 [illegible]

▲京城温度 六月一日 [illegible]

月やく 婦月丸
月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
月經の滯を通じ、月經不順に伴ふ子宮血の道、便秘、頭痛、氣鬱、逆上等を良治す。
又持藥とせば惡血を下し、子宮病を治す。
藥價 半月分 武拾五錢 一週五拾錢 二週壹圓 三週壹圓四拾錢
本舖 丹平商會藥房

店員 西村正一
右者今回解雇致候に付爾今弊商會に一切關係無之候間此段謹告仕候也
大正六年七月一日
京城南大門通一丁目 西村商會

花柳病 外科 專門
電話開通三〇六五番
京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院

開業御披露
拜啓 時下益御健勝の段奉大賀候 陳ば私事今般左記の所に産婆開業致し候に付何分御用命相伺ひ申すべく候極めて熱心に御引立を賜り度先は開業御披露申上候 敬具
京城本町五丁目廿六番地 友枝マキ 電話六四〇番

確實なる貴金屬
腕卷時計 貴金屬製品 ルメヤ双眼鏡 右各種品揃
京城本町一丁目 勲章堂 平井時計舖 電話三六〇一番 振替二二一番

內外雜貨卸 鍋釜金物 サクラビール 石油 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

內外雜貨問屋 月刊商報呈送 明治屋本店

食料 罐詰 洋酒 糖粉 煙草 卸問屋 (東) 釜山辨天町 あづまや商店 電話長三五八番 振替京城三九番

釜山商店案內
內外雜貨 卸問屋 釜山本町二丁目 近江屋支店 電話八〇二番 振替京城一三七番

新田帶革 朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店 新田式耐水調革 (定價表申込次第送呈)

天下一品 白鶴 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

鑛山 分析鑑定 測量設計 鑛床地質調査 鑛區選定 (外國鑛業に關する事は迅速に致す)
熊本 福岡 學士倶樂部 釜山鑛業所 釜山幸町二 (電話二五七番)

恩給 年金 長期立替 五ヶ年 [illegible] 京城商品陳列館前之坂 [illegible]

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……卸値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

ハカリ印
配劑の妙
適確なる藥効は藥劑の巧妙なる配合に因つて顯る
ハカリ印のヘブリン丸は其配劑の優れたる寔に理想以上なりと諸大家は之を賞讚せり
カゼは勿論總て熱病に罹られたる場合には速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし
Antifebrin PREPARED BY

電話開通三〇六八番 稅所齒科醫院
見習看護婦入用 高等小學卒業程度 京城旭町二丁目八一府廳裏通

猿印 月虎印 のみとり粉
南京虫、蚤、虱、油虫、蟻、蚊等全滅保證
蚊とり線香
帝國醫科大學卓効證明 內外國博覽會賞牌受領
製造所 紀州有田郡山田原 販賣所 大阪順慶町二丁目
上山靜藏鑒製
INSECT POWDER 上山靜藏鑒製

電話開通三〇五一番 印刷インキ製造販賣 京城古市町 芹川商店

[illegible]

# 明君道中記

第百九十三席　田邊南龍口演

藤堂家の新七より水練を御覧に入れるとあるから長七郎は盃を挙げながら是を見て居る、内に廿四五人の若侍が桟敷の下へ衣類を脱捨素裸體になつてドブン〜と海中へ飛込んだが、何れも抜手を切て泳ぎ出す、實に水練は奇代の名人、立泳ぎ片手泳ぎ腹這ひ背泳ぎ又は逆さ立、種々御覧に供へますから長七郎は悉くお喜びになつて　長『コレ見よ宇平次宅兵衛、皆泳ぎは上手なものぢやな』宅『實に手練なものでございます』長七郎は思はず錢を擲げてお賞めなさる、若侍は先分に水練を御覧に入れ皆々元の處へ泳ぎ戻つて陸に上り身軀を拭ひ各々脱捨置いたる衣類を着しましたが大小はあれど懐中物や提物が紛失をして居るから　○『同役播不の紙入が無せ』『手前の巾著がございません是は不思議』と各々キヨロ〜四邊を眴はして居る、長七郎は是を見てお笑ひなされ殊に依たら木鼠三次の仕事ではないかと思召て三次の方を御覧なさると、三次はニヤ〜笑つて居るから　長『コレ三次、其方が遣つたのではないか』三『ヘエー恐入りましたが小遣取にちよいと遣りましたので』長『藤堂家の役人のは取つてはならん返して遣れ』三『ヘエ返しますか』長『コレ〜其方共の懐中物は只今返して遣はすから受取れ』三次が紙入巾着印籠等を一ツにして其處へ投げて遣る、役人共は喜んで各々の懐中物巾着等を受取つて中を見ると中に入れて置いたる金が一文も無い、是には役人も驚きました、其の日は夕景まで御酒宴に相成り藤波方へお引取りになり、翌日は相の山へお出でになりました、此の相の山にはお杉お玉の踊があります、此のお杉お玉の踊といふのは昔杉玉といふ兩女が此の相の山で踊を踊つて錢を貰ふて居たもの、それから引續いて遣つて居りますのだが、今出て居る女は何といふ名の女だか知らないが、矢張り皆お杉お玉と呼びまする、長七郎は相變らず宇平次や宅兵衛三次等を伴れてお出なされお杉お玉の踊を見て居りましたが、一と切り終ると見物の人々皆錢を投げて遣ります、其の投げる錢を女は笠で受止める、決して身體へ中らないといふので見物は面白がつて錢を投げて居る、是を見て木鼠三次　三『こいつは奇體だ、俺が一ツ打ツつけて遣らう』と五六文の錢を擲んで女の面を狙つて投付けるとピタリ笠で受ける、又投げるを受ける　三『是は不思議だ、三宅さん一ツ遣つて御覧なさい』宅『俺が一ツ遣つて見やう』五六文の錢を掴んで女の鬢を望んで投付けると受損じたから鬢に中る、又投げた奴は胸に中るから　宅『何うじや三次、俺が遣るとぶツかるぞ』三『何うも流石に貴下は剣術が出来るからぶツかるので、女も受けることが出来ません、イヤ恐入つたもので』と感心をいたしました、一日日を暮して藤波の許へお歸りになる、藤波の方では相變らず山海の珍味を集めて御酒を差上げる、新七を始め藤堂家の役人が御待遇をいたして居る、木鼠三次は宅兵衛に對ひ　三『三宅さん』宅『何だ』三『此の伊勢へ來て古市の伊勢音頭といふものを見なければ話しにならぬね、何うです貴下から親玉を勸めて今夜古市へ踊を見に行うぢやアございませんか』宅『イヤ踊を見るには女郎屋へ行かねばならん左様な處へ行くのを勸めては相成らん』三『宜いではございませんか、貴下も若い身そらで一晩位泊込んでも差支は無い、女郎屋へ行つたツて女を買さへしなければ宜い、踊を見る分には差支へないのだな』と長七郎へ此の事を話しました

齒科診療　野田醫院
本町一丁目三越向　電話一〇四七番
齒科醫士　野田　[illegible]

書畫用　絖畫絹
京染呉服商　まや出張店
京城永樂町一ノ二　電話二一九六

牛乳　朝夕配達　病者乳用　御用
岡野牧場
京城東四軒町　電話一〇六九番

外科　尿器科　皮膚科　花柳病科　一般
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番


七月三日

三碧　五月十五日丙午　本命三碧　東　建　先勝

[illegible]

## 演藝案内


寿座　京城壽町　電話七五八番
[illegible]
六月三十日、七月一日　入場料一、二次第廿錢均一　午後八時開演

りん病　消渇で困る方　切手三錢送れ
多年の慢性も自宅で安全秘密に治す良藥の自宅治療書を無代進呈す
名古屋市南かじや町　武藤龜吉
[illegible]　特製品
[illegible]

大正館　櫻井町三丁目　電話八七三
[illegible]

稲荷座　本町五丁目
[illegible]

壽館　京城壽町三　電話一二〇
[illegible]

有樂館　電話（階上）四九七番（階下）二一〇番
[illegible]

黄金館　電話二六三七　六五二
[illegible]

御成座　電話二一九一
七月一日開演二回目狂言　一番目悲劇　二番目喜劇　叔父の幽靈
[illegible]

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 一四〇 八四一 四五九 四四番
振替京城五七番

内科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話 二七九二 一二九

# お化粧の仕方

高尚で美しい

お化粧の順序

クラブ洗粉　クラブゼリー　クラブ白粉　牡丹はけ　水白粉　ぬれタオル　クラブ頬紅　クラブ粉白粉

美人にある近道は

（第一に）舶來石鹸よりも牛乳よりも遥かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顔を洗ふ。

（第二に）皮膚の美を養ふクラブ美身ゼリーを襟から顔へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば一番よくきくアレ止め兼用の美身料クラブ美身クリームを代りに用ひ、能く擦込んでから蒸タオルで拭取る。

（第三に）一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉

を掌に取り、指先で能く煉つて附け（襟は顔よりも少し濃く）、牡丹刷毛で白粉を延ばし水刷毛で均らし。

（第四に）絞りタオルで抑へて白粉を落付かせる。お顔にホンノリ櫻色の健康色を添へるクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く擦く。

（第五に）お化粧を一層引立てるクラブ粉白粉をセーム皮につけて顔に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム皮で軽く打ちます、高尚で美しい淑女式のお化粧が出来上るのでございます。

美人

特許機械製
ほまれみそ
於第八回日本産業博覧會　銀牌受領
仁川府松林里
釀造元　日本醬油株式會社

# 京城日報

七月一日（夕刊と合せて八頁）

第三版

# 朝鮮の教科書（二）

編輯課長 小田省吾

## 二 高等普通學校及同程度教科用圖書（其一）

新政以降、朝鮮に於ける諸學校中最も教科書に關し困難を感ぜるは高等普通學校及び同程度以上の諸學校に在り。何となれば普通學校に於ては本篇の冒頭に述べたる如く、總督府に於て當學部編纂の教科書を訂正出版したる一時代用的のもの之あり。然るに高等程度のものは殆ど皆無なりしが故なり。人或は曰はむ、高等程度の教科書としては、內地にて出版し文部省の檢定を經たるものあるにあらずやと。然り、然れども之れ一を知て二を知らざるものなり。試に是等の檢定教科書を取りて詳細に其の內容を調査せむか、朝鮮學制上適當と思はるゝもの極めて稀にして只數學、理科に關係あるもののみは比較的稀少きが如きも未だ甚だ適切なりと云ふを得ず。況んや、其の定價の一般に高くして朝鮮の民度に適せざるに於てをや。由て本府は之が焦眉の急に應せむが爲め更に高等程度諸學校の教科書編纂に着手するに至れり。

今茲に一言すべきは、此等高等程度諸學校の教科用圖書に關する法規なりとす。即ち高等普通學校規則第三十條に

高等普通學校の教科用圖書は朝鮮總督府の編纂したるもの又は朝鮮總督の檢定を經たるものを用うべし。

前項の教科用圖書なきときは朝鮮總督の認可を受けて前項以外の圖書を用うることを得。（私立學校規則も之と同樣なり）

とあり。然れども本府檢定を經たる高等程度の教科用圖書極めて僅少なるを以て、大多數本府編纂の教科書を使用すべきも、目下尙完成せざるを以て、已むを得ず內地出版の中等程度教科書中に就き、本府の認可を受け使用するもの少からず。斯くて本府に於ては、先づ內地の中等程度教科書を以て代用するに最も都合惡しと認むるもの、並に本府檢定の教科書なきものより編纂に着手し、漸次完成して以て此の方面の教育上遺憾なきを期しつゝあり。目下既に出版せる此種教科書は左の如し。

| | |
|---|---|
| 高等國語讀本 | 全八冊 |
| 高等朝鮮語及漢文讀本 | 全四冊 |
| 高等習字帖 | 全二冊 |
| 外國歷史教科書 | 全一冊 |
| 日本地理教科書 | 全一冊 |
| 同　附圖 | 全一冊 |
| 地文學教科書 | 全一冊 |
| 教育學教科書 | 全一冊 |

此等教科書の編纂に關しては一々之を詳說するの煩に堪へざるも、何れも之を內地出版の中等程度教科書に比し自ら一種の特色を有するものあり。由て聊か其の概要に付一言すべし。

一、以上の教科用圖書は普通學校教科書の完成を待たずして同時に編纂に着手せるものなれば、聯絡上多少の遺憾なきを期し難きと、此等は何れも急速の編纂に屬し、女子高等普通學校、實業學校其の他各種私立學校にも兼て使用せしむる目的を以て編成したるものなれば何れも一時『稿本』の名の下に出版せり。

二、以上の諸種教科書は差當り稿本として出版すと雖も、其の內容に於て萬々誤謬なからしむるが爲、或は內地知名の學者に編纂の一部を託し、或は嚴密なる査閲を求め朝鮮に關する事項は悉く之を各部當局に糺したり。

三、高等國語讀本は、全然世間慣用の歷史的假名遣法に依り、口語と文語との配當を適當ならしめ、會話と文章との學修に遺憾なからしめ、又各課に練習問題を附して其の習熟に資し、附錄には難解事項を註釋して自學に便せり。本書收むる所の文章は總て現代文にして、僅に近古文を交へ、文體は現代社會に必要なる諸種のものを合せ取り、又時に韻文並に漢文日本讀みを授くることとし、而して之等文章の程度は大體中學校の國語讀本と大差なきも佶屈聱牙なるものは之を避けて平易流暢なるもののみを選擇せり。

又文章の內容は皇室國家に關する事項を主とし、斯る教材は毎卷必ず之を卷頭に置き、我が國の國情を辨じ新政の旨趣を善く理解せしむるに力め、實業を尙び勤勞を重んずる等訓育に關する教材は成るべく多く之を取り、幾分修身書の代用たるを得しめたり。

# 支那商工業の變遷（三）

今關天彪

## 一七、明代の工業（其二）

漆器は宋時代に剔紅、鎗紅、鎗銀の諸法があり、[illegible]化したのに特長がある。即ち鎗金法を繼化して泥金（高蒔繪）、描金（平蒔繪）の二法が出來、彩漆（研出）の二法が出來た。但しこれ等の法は、日本から傳つたのである。描金と泥金は先づ浙の寧波に傳はり、泥金、縹霞、彩漆は、宣德年間に人を日本に派して學得せしめ、英宗の時代に揚塤が出て、揚倭漆とて一世に稱美せられた（宣德年間に人を日本に遣して泥金畫漆の法を傳へしめた事は、皇明文則中の獨汝弼撰揚塤養士傳に見ゆる）また王世貞の書いたものに、吳中の名工を擧げ、陸子剛は玉、鮑天成は犀、朱碧山は銀、趙良璧は錫、馬勳は錫、呂愛山、王小溪、蔣抱雲、[illegible]に長じ、みな當價に二三倍すると見えて居る。各地に名工のあつたのも、これで想像がつくのである。

こゝに帝京景物略から漆器に關することを拔いて參考に供したい。

漆器は國朝（明）にして傳ふべきは、宋剔紅、填漆、倭漆なり。剔紅は、宋には金銀を下地に作れども、國朝には錫、木を胎となす。その法、朱漆を塗ること三十六次にして、紬緞の模樣を鏤め、底漆には黑光あり、針の如くに大明永樂年製と刻す。宣宗の東宮たりし時、剔紅等の製造元は議定を經て作りしが、即位の後、廠器、前に及ばず、工匠屢々罪を得しかば、竊に內藏の盤合を購ひ、款を磨き、記して是を進め、永樂の細字を磨き落し、刀もて宣德の大字を刻し、之に濃金を填む。是の故に宣德の款あるは、皆永樂の器なり。填漆も亦同じ。填漆は花鳥を刻し、五彩の漆を填めて其の上を磨き、久しくして愈々新たなり。この器傳はるもの少し。故に貴きこと剔紅に數倍す。倭漆は、其の技を盡す者を蔣製倭漆と稱す。然れども倭にては、碎金を漆に入れて上を磨く、故に金の顆屑圓稜、分明に現はる。蔣が製は泥金を用ふ、故に[illegible]描海、模糊として明かならずと云ふ。

この時代には儀器を製造した。支那では天文を見るに渾天儀を用ひたのは隨分古い事で、後に後漢の張衡も之を作り、唐の李淳風は黃道游儀を作り、元の郭守敬は[illegible]を作つたが、この時代の徐光啓に至つて、伊太利人利瑪竇に天文學を學び、龍華民、鄧玉函、羅雅谷（みな西洋人）と暦法を推して、測高儀器及び遠鏡を作り、西洋の製法が漸く輸入されて來た。また自鳴鐘即ち時計は利瑪竇が朝廷に獻じてから後、模造して作るものがあつて、新發現の製造物となつた。また西洋火礟は、永樂七年、交趾を征伐して神機即ち銃の製法を得、正德末年、佛郎機國（ポルトガルか）船の廣東に著してより佛郎機礟があり、後また西洋船より巨礟を得、之を紅夷礟と呼び、長さ二丈餘、重さ三千斤、能く石の城をも破裂させ、その音響は數十里の外にも聞ゆといふ事である。崇禎の時に[illegible]徐光啓が西洋人をして之を製造させんとした事もあつた。

# 第卅九回特別帝國議會

## 衆議院（卅日）

### 彈劾討議（承前）

▽尾崎行雄氏 は進んで登壇外交問題に鋒を轉じ「日本は何故に他に率先して支那の內政を整ふるに努めざりしや而して却て米國に先んぜらるゝや自ら窮してその議牒を他の通牒の如く裝ひ外相は米國が支那への通告を中止したるなく吹聽して自己の失態を掩はんとす（此時「汗は君の演說なり」と呼ぶ者あり）更らに言論の壓迫に至りては元老攻擊は不敬罪の罪名を以て起訴され檢事は內閣の命に依りて動く古來勤王の士は皆一命を賭して國事に盡瘁し却て其爲めに迫害せられたり北畠親房を見よ高山彥九郎を見よ」と論じ來るや政友會側より笑聲罵聲交々起る尾崎氏は更に後藤內相が在野當時配布せる秘密出版物を卓上に翳しつゝ內相を『國家不忠の臣』と叫ぶや政友維新國民黨側より全部朗讀せよと叫ぶ者あり議場再び混亂し大岡議長起立して靜肅を求むれど議場は尾崎氏の發言に隨て益々亂る、軈て稍靜肅となるを待ち尾崎氏は該秘密出版物の項目を朗讀するや『其れは皆大隈內閣のヤツタ事だ』と叫ぶ者あり、尾崎氏は勵聲一番『斯かる捏造の文書を配布して帝國國交を害するは支那人の手先に使はるゝ國賊の所爲なり』と手を擧げて後藤內相を指し『國賊』と呼ばれて汝[illegible]る色無きかかゝる閣僚を有する內閣に何の官紀振肅ぞやと怒號して壇を降るや

▽後藤內相 發言を求めて登壇顏色を變まして曰く『尾崎君の所說は國交に大なる關係あるを以て一言せんとす（憲政會より「恥を知れ」と叫ぶ者あり）尾崎君の朗讀せるものは只當時の世上の材料を蒐集せるものにして其眞意は以て國家に忠なる人士が研究の資料に充てたるのみ、此の材料は眞實なりとして之を出したるに非ず』と云ふや『何故其眞實を疑はざるや』と憲政會側喧囂を極む後藤內相勵聲一番『若し余の爲したる處にして咎む可しとせば當時の法相尾崎君は何故其當時に於て之を糺彈せざりしか前內閣は該秘密出版物を知つて之を取締る所以を知らず殊に尾崎君が斯の內容を此の壇上に朗讀したるに至つては驚くの外無し』と降壇維新會の坂本金彌氏次で立つ

（以下二面に續く）

○雞林同人詠草

妻なしになれるとすかきその朝つゆの音せし闇に來て鳴く　佐々木信一

山かげの庵なつかしみやどかればきしとよみて夜はあけにけり　坪內 孝

石佛ひとりたいせる燒野原雨そぼふりて雉子なくなり　松田 甲

わらび折る子らがさゞめき遠くなりて山路にたかきさじの一聲　佐々木低文字


# 最新刊

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| 寵筒 | 岡本米藏 | 一、〇〇 |
| 進むべき道 | 山路文雄 | 一、三〇 |
| 新評韓非子 | 野中元三郎 | 九〇 |
| 家庭改良家庭教育 | 佐々木吉三郎 | 二、〇〇 |
| 微積小學の基本概念と問題と解方 | 永野木市 | 一、三〇 |
| 新案問題式算術練習法 | [illegible] | 六〇 |
| 趣味の秘訣 珠算と筆算 | 佐々木政吉 | 五〇 |
| 俗語大辭典 | [illegible] | 特一、八〇 |
| 實驗蔬菜不時栽培法 | [illegible] | 二、七〇 |
| 和洋建築設計製圖 | [illegible] | 一、二〇 |
| 論理必携論辯學奥義 | [illegible] | 九〇 |
| 竹の下枝 | 小川 | 二、〇〇 |
| 文範模範書簡文講話 | 大町 | 一、二〇 |
| ジアングリスト 闇を破つて | [illegible] | 一、三〇 |
| 東京の三十年 | 田山花袋 | 一、五〇 |
| 日本衛生 若き婦人の心得 | [illegible] | 一、〇〇 |
| 光源氏の一生 | 高安 | 六五 |
| 漫畫道中記 | 一路 | 六〇 |
| 琵琶名曲集 | 永田錦心 | 八〇 |
| 俳諧古蕉談 | [illegible] | 五〇 |
| いたづら小僧日記 おてんば娘日記合本 | 佐々木邦 | 七〇 |
| 日本世界見物 | [illegible] | 一、二五 |

大阪屋號書店

雨が多い
季節となりました、雨の爲め宅にこみ暮らす日が多くなりました、コンナ時こそ心静に墨の香にしたしみつゝ文字を習ふに一番よい時季です。
字が下手で損なのはアナタの胸にある筈
今日から稽古をなさい、そして梅雨がアガツた時アナタの顏も嬉しさに晴れ〳〵するやうに上手になれる筈があ〳〵りません。
習字速達の說明書無代進呈
大日本習字速達會
東京駿河臺

朝鮮滿洲 汽車汽船 旅行案內 七月號出來

先行所二注文セラレヨ ← 研究社
東京麹町區富士見町 振替東京二八六〇一番 發賣所全國地方書籍店

研究社發行四大英語雜誌

英語研究 七月號!!（第十卷）
中學四年五年及卒業程度の理想的夏季特別號の盛觀!!
英語雜誌界最高の權威を以て世に許され常に新界の模範たる本誌は最大の讀者を有するが故に他の餘力を全部誌面の上に注ぎ斷じて他の追從を許さず! 先づ本號の內容を見よ
本月號に限り 金十五錢 郵稅一錢 一ヶ年分 二圓六十錢

中等英語（第五卷）
中學二年三年程度極めて愉快な夏季特別號の盛觀!!
中學二三年程度の英語雜誌は日本廣しと雖本誌の外に斷じてなし、本誌は實に日本唯一無二の好英語雜誌なり、記事は悉く親切で可憐を以て一貫し、全誌面に活氣横溢たり。今スグ七月號を見よ!!
本月號に限り 金十五錢 郵稅一錢 一ヶ年分 一圓六十錢

ABC（第四卷）
中學一年程度ABCより研究する改卷第四號 七月一日發行
英語のAの字さへ知らない人でも本誌を毎月御讀になれば普通の英語一通りは必ず解る樣になります、初めて英語を學ぶ人は必ず必ず此雜誌ならば大丈夫英語の獨習が出來ますから御覽下さい
一部金三錢送料一錢 半年分前金郵送共一圓四拾錢

面白く解り易き獨習の武器 英作文雜誌
英語雜誌中最も適切に各方面の記事を網羅するは本誌であります。生きたる英語、生きたる英文乃ち實用英語の上達を望む若は恐れず本誌を御覽下さい。▲見本誌一冊丈進呈す。▲各所雜誌共語學力の程度に應じて一冊丈の推薦雜誌の指定を謝絕す。往復ハガキにて申込の事
毎月一回一日發行 定價一冊十二錢 五厘、一ヶ年分十十錢 二冊金一圓四十錢（送料不要）

京城西小門町二一番地（舊醫院跡）
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

半襟陳列即賣會
■壹萬掛限り特に卸賣値段にて提供
■京都半襟卸問屋の空前の試み
こんなよい柄。こんな色が。こんなに安い値で! と乾度驚きになる犧牲的即賣會
七月三日より同月五日まで（三日間）
午前九時より午後七時まで
於 京城ホテル開催
京都 半襟卸問屋 寺田卸店
臨時京城出張所

# 京日案內

普通 一回前金二十錢（五行以內） 番外 一回前金五十錢（二十字詰）
▲申込後中途解約及中止の節は前金返却せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信料添付の事 ▲御照會の節は必ず番號記入の事
番通

●産婆弟子入用 但し免狀を有する者年齡廿歲以上の者 南山町三丁目電話一四七九 杉原 227

石膏像新形種々入荷 東京堅卸小賣 京城本町壹五七振替三三ツボヤ 222

外交員募集 但面談可成午前中の事 京城旭町二丁目上る 朝鮮雜誌社 211

●配達人若干名至急募集希望者は本人來談あれ但市內確實なる保證人を要す 京城古市町一の一二七 新報社新聞支社 229

●代診看護婦及看護婦見習採用 希望者は履歷書持參あれ 京城明治町二丁目田新醫院 207

●至急讀度し（龍山二九番）龍山漢江通八 電話五三三番 井上商店 204

●生後三ケ月男子有乳有る方に預けたし希望者は通知又は來談あれ 京城本町四丁目櫻井町入產婆石橋 209

番外

男女事務員採用 希望の方は履歷書携帶來談あれ 京城吉野町一の一二七（元仲新地）大日本新聞鮮滿支社 208

汽罐及搗鑛機賣却 汽罐廿五馬力搗鑛機件數廿本杵重三百五十磅 慶北善山郡下城面九鳳洞 吉尾 193

●外交員採用 京城櫻井町 戶部印刷所 182

石版畵工募集 京城櫻井町 戶部印刷所 181

有給 鮮日 外務員募集 履歷書携帶面談の事 日本生命保險會社開城代理店 188

●礦物定量分析 太平町二丁目二二五 電話長三四四 朝鮮公論社左横小路 坂元分析所 189

# 衆議院（卅日）

## ▲彈劾案討議（一面より續く）

▽**阪本金彌氏** は彈劾決議案の內容五項に亙りて一々反對して曰「政黨に基礎を置かざる內閣も憲法に違反せるものと云ふ可からず公論を阻壓せりと云ふも公論を須ゐずして大勢に依りて解散を行ふを得選擧干渉を爲せりと云ふと雖前內閣に比して如何成績見る可きもの無しと雖も歳月を要せざれば果らざる成績もあらん對支外交の失敗を言へど現內閣は前內閣對支外交の失敗を恢復するに勉めたり閣外に特設機關を設けたりと云ふも重大なる時局に朝野一致して國事を計るは最も喜ぶ可し最後に余の本案反對の重大なる理由は提出者の資格なし尾崎君は在朝當時は果して責任を數明にしたるや大浦內相は國家の爲めに盡せるなり尾崎君たる者之を庇護するが武士道なり然るに之を閣外に追ひ自ら止れり斯くの如き提案者の提出には反對せざる能はず」と述て降壇す次で

▽**押川方義氏** (無所屬)登壇超然內閣に反對し選擧干渉の非理を攻撃するや滿場沸々囂々となして論旨徹底せず『アーメン』『敎會で言へ』等の野次を浴び笑聲裡に降壇次に

▽**鵜澤聰明氏**(政友) 政友會側の拍手に迎られて登壇『決議案中重要なる二個の點に就き考究せんとす一は內閣が下院に基礎無くば不信任を受けざる可からざるか、二、外交調査會が憲法違反なりや第一に就きて**法律上**より見れば**憲法違反に非ず**政治上より論ずるに是を是とし非を非とし稱すに時日を以てし其成績を見るを穩健なる政策とし直ちに之を以て不信任の原因とす可からず第二に就ては此の機關は**國務大臣**よりも寧ろ**樞密院顧問**に類するものにして**憲法に抵觸せず**而して之を政治的に觀察すれば此の時局に對して協同して之に當り責任を回避する無くして國利民福に資せんとする此の機關に對して贊意を表せざるを得ず』次で

▽**島田三郎氏**(憲政) 登壇『下院を基礎とせざる內閣は基礎を國民に置かざるものなり現內閣は輿論の府を無視せるのみならず斯の外交調査會は國民を蔑視せり斯の外交調査會は國論統一機關と云ふも其の委員の資格は皆大臣の經過を受くる者と限定せるに非ずや（『島田君に其資格が無いだらう』と呼ぶ者あり）政爭を避くるは異論なきも責任の所在に就ては須く擧國一致內閣を作りて其紛擾を避く可きに非ずや彼の日露戰爭當時すら政爭を避け得ざりし諸君が今に至り政爭を避くるとは何事ぞ』と更に前議會に於ける紛亂を論ずる事十分時に亘り議場漸く倦怠の氣多く野次を浴び終に『島田の演說狂』は攻擊だ』と呼ぶ者あるを聞くのみ島田氏は頓に**對支政策を攻擊**して降壇す

▽**松室法相** 發言を求めて登壇『尾崎君は檢事が內閣の命を受けて事件を起訴せるやにいはれたるがこは**司法の權威**に關す余は司法部內に於ける永き生活中の記憶に依れば檢事が內閣の命を受けて起訴する事無し司法部の人は法相よりも此の事を聞くの機は無かりしも其の疑惑を起さしむ』と述べて降壇

次で政友會**中村啓次郎氏** 登壇『內閣の選擧干渉對支外交失敗を難ずるも法の常道は時勢に應じて其運用の敏活を期するに於て存す』と外交調査會の機宜に適せるを述べて降壇次いで

▽**下岡忠治氏**(憲政) 發言を求め曰く『外交調査會は輔弼機關が內閣樞密院の二要素に限定ある原則に反す單なる諮問機關としても樞密院と重複す若し責任を有する機關とせば**首相の責任**を如何』と述べて降壇す次で

▽**本野外相** 登壇『支那政局今日の紛亂が我責任なりとは本大臣之を認むる能はず既に我國が獨逸に宣戰せる以上**參戰**を爲めに支那を紛亂せしめたりとは何ぞや而して今日の**時局は非常の時なり非常の機關の出現**を要する當然の事なるを此所に明言す』次で

▽**林毅陸氏**(政友)立つ『寺內內閣は依然として超然內閣なるに拘らず國を擧て有能の士の庇護に俟たん旨趣に於て外交調査會を設けたり**擧國一致を望める首相の意**は諒とすべし姑く現內閣に時日を與へて爲す處を見んとす憲政會の對支外交に就て現內閣を攻撃するは百步にして五十步を笑ふものなり膠州灣の還附は前內閣の明言せる處ならずや今日となりて青島の利權など云ひ得可き場合に非ず』

と此の時恒松隆慶氏より**討論終結**の動議あり大岡議長は其前に寺內首相より通告あり』と告げ

▽**寺內首相** 登壇『諸君、現內閣不信任決議案の猶ほ議場に提出せられたるに就ては本大臣は一言之に對し所信を披陳して各位の考慮を煩はさんとす決議案の理由に依れば現內閣は國民輿論の府たる衆議院に基礎を有せず其存立は憲法の條規に反すとありて曩にも前議會に提出せられたるものと同一にして其當を得ざる點に對しては今猶理義を說して遍く一般に公表せる解散理由に盡せるを以て改めて此所に言はず政府は**總選擧に對し至公至平**を旨とせるは世間周知の事にして苟くも非違あれば黨派の異同に拘らず**毫も假借する處無かりしは司直の處分**に徴するも明かなり猶之をしも公論を阻止し陰險悪辣の干渉を逞くしたりと云ふに至りては我公正なる司直の府を疑ふものにして**畢竟讒誣虛構の暴言と云ふの他無し**政府は既に厳な聲言せし如く大命を拜して以來銳意庶政を整理して力を內外百般の事に盡せり未だ顯著なる効果を見るに至らずと雖ども**特に外交に就ては夙夜專思熟慮施爲畫策**其機宜を失はざらん事を期せり幸に何等の過誤無くして今日に至れり隣邦**支那の擾亂**に就ては東洋大局の保全に顧て**政府は日夕留意**して怠らず今や世界未曾有の大變局に處し聖明の皇猷を翼贊し創籌其宜に適はしむるは容易の業に非ず本大臣は就任の始めより**拳々匪躬の節**を致し一意國家の爲めに心血を注げり此の重大の時局に就き一身の成敗に顧み一時の毀譽褒貶を怖れ國家隆替に關する大事を思はざる如きは眞に至誠憂國の人と謂ふ能はず今日の場合に於て時局に關する緊要なる事項は概ね**大權の發動に仰ぐ可き重大事項と思惟し**至尊の側近に外交に關する臨機啓沃の機關を設置せられん事を奏請して朝野の練達堪能の士を簡拔奏薦したるは此の變局に對應し銳意國家の大計を誤る無きを庶幾ひたる次第なり其の施行に至りては**憲法上國務大臣の責任**に屬し**本大臣輔弼の重任に辜負せざる事**勿論決して責任の推移を計り閣臣責任の本義を紊したる無きを此所に斷言す今春本議會現內閣不信任案提出されたる以來中外の形勢は益々多變遷の跡あるに徴し益々時局の重大なるを感ずるに**一朝の行懸りに拘泥して再びかゝる不信任案を本議場に提出**せられしは**國家の爲め深く遺憾**とする所なり日の東合眞に帝國の前途を憂慮せらるゝ諸君はかゝる決議案に對し一顧を與へられざる可きは本大臣の信じて疑はざる所なり』斯くて**討論終結**の動議を起立に問ひ記名投票に移りたる結果

總數三百五十八票

可とする者 百二十四

否とする者 二百三十四

即ち百十票の差を以て彈劾案を**否決**し直ちに散會を宣す時に午後八時五分(東京特電)

## 陛下御避暑期

天皇皇后兩陛下には本年も例年の如く日光田母澤御用邸に御避暑遊ばさるゝ趣にて近く御準備に着手すべく行幸啓期日は多分來る七月三十日の明治天皇五年式祭御親拜の後即ち八月上旬ならんと申す猶皇太子殿下の御避暑は多分箱根宮ノ下御用邸、雍仁親王殿下には福島縣翁島高松宮御別邸、澄宮殿下には田母澤御用邸西附屬邸たるべしと承はる(東京特電)

## ◎學士院授賞式

帝國學士院にて一日午前十時三十分より授賞式擧行院長菊池男の授賞方針に關する演說あり終つて左記諸氏に對し夫れ〲授賞を行ひ寺內首相、波多野宮相、岡田文相の祝辭朗讀ありて零時三十分終了し茶菓の饗應ありたり(東京特電)

恩賜賞

文學博士 佐々木信綱 本朝歌學史及び和歌の研究

理學博士 寺田寅彦 ラウエ映寫の實驗方法及び其の說明に關する研究

學士院賞

理學博士 眞島利行 漆の主成分の研究

理學博士 西川正治 スピネルの原子配置並に之に依る物體のレントゲン線檢査に關する研究

## ◎奧山書記官渡臺

奧山駐露大使館附書記官は一日門司發の商船嘉義丸にて渡臺の途に就けり(門司特電)

## 併合後の鮮鐵服制

鮮滿兩鐵道併合後に於ける朝鮮鐵道の服制に付聞く所によれば現業員は全部滿鐵同樣乃ち驛長助役は赤色帽其他は大同小異とし事務從事員は普通洋服となるべしとの事なり

## ◎朝郵買船計畫

發展の下準備乎

朝鮮郵船會社にて近時數隻の汽船を買收せんとの計畫ある旨傳ふるものあり右に付同社當局の語る所に依れば目下本社に於て適當の船舶あらば相當の價格に買收したき希望を有し居るも其の向なきを物色しつゝあるは事實なるも現今の如く高價の汽船を買收し之れを直ちに運賃の低廉なる命令航路に就航せしむるが如きは到底採算の餘地なし[illegible]に會社に於て船舶の買入れを爲すも姑らく之れをチャーターして之に若干の利益を得船價の消極的銷却を行なひ而して會社の航路に充當すべし尚買船實現するも今假に未拂込み株金の拂込みを求むる事はなさず其の資金は之れを借り入れに求むる考へなり云々と多分朝郵は海運界の前途を樂觀し[illegible]明年頃より實行すべき內地朝鮮間の航路に就航せしむる下準備なる如し尙ほ朝郵の希望船は一千噸級より二千噸級船なりと

## ◎張勳復辟實行準備

部下の兵士宣統帝の宮殿を護衛す

張勳氏は復辟實行を決心し六月三十日夜定武軍をして總て宣統帝の宮殿を護衛せしめ一兩日中に之を發表すべしとの噂盛んなりしが果然同氏の軍隊二個大隊は七月一日午前四時突然宣統帝の宮殿に入り其の護衛に任じ居れり斯くて復辟實行の準備成りて宣統帝の復辟詔書直ちに公布さるべしと(北京特電)

## ◎康有爲、張勳密議

康有爲氏は六月二十八日夜僧服を纏ひ三等汽車にて北京に入り張勳氏と會して密かに凝議せる形跡あり其目的は分明ならざるも時局に關し何事をか計畫せる事明なり(北京特電)

## ◎英國對支阿片貿易

英國下院にて一議員より日本仲介の對支那阿片貿易を制限するに就き日英兩國政府の間に交渉行はれたるやとの質問あり外相バルフォア氏は之に答辯して曰く駐日大使グリーン氏迄には或る程度の相談を試みたるも日本政府に對しては未だ交渉の手續を執らず尙昨今關係各省にてモルヒネ取引を制限する爲め適當の方法に就き考慮中なり(倫敦電報)

## ◎露人歸國頻々

近日朝鮮鐵道を經て露國に歸還し行く團體多く其の二等ボギー車一輛を借り切れるも珍らしからざるが聞く所によれば彼等は一昨年より昨年に亙り露國舊政府に壓迫され餘儀なく故國を去り米國に難を避けたる社會黨員にて今回露國革命の成功を聞き其の祖國に於て身所の安きを知り續々歸國し行くものなりと

## ◎池田氏へ記念品

前遞信局長官池田十三郎氏退官に付內田遞信次官以下遞信省內有志宇佐美長官外總督府部內の有志發起となり內鮮遞信事業に對する同氏の功勞を錄し其の勞に酬ゆるため同君の肖像額面製作基金の募集中なるが計畫の內容は池田氏の肖像額面三個を製作し一個は池田氏に贈り一個は遞信局及び遞信博物館に寄贈し殘金あれば同氏に記念品製作のため贈呈せんとするにあり尙ほ醵金は島田遞信局事務官宛申込むべしと

## ◎慶北春蠶狀況

前年に比し三割の增收

慶尚北道本年に於ける春蠶狀況を聞くに掃立後上簇に至るまで天候氣溫共に極めて順調に經過したるを以て稀れの好成績にて產繭は品質の良好なる事內地の製絲家を驚かしむるものあり殊に掃立戸數の增加等に因り一層收繭量を多らしめたる結果前年に比し約三割の增收を示せるものなり而して生絲相場大奔騰の爲め繭價も亦稀れに高調を唱へたるのみならず各仲買商人の買收戰激烈なりしを以て養蠶家の懷を温めたる事も一夥し、されば本年春蠶の好成績を實驗したる養蠶家はいふまでもなく一般農民が養蠶業の有望なるを知悉すると共に來年は更に一層養蠶戸數を增加し從て產繭の激增を示すに至るべく豫想されつゝあり(大邱)

## ◎新補八十聯隊附將校

大邱步兵第八十聯隊へ轉補を命ぜられたる步兵中尉鈴木亨、同少尉齋藤仁三郎、同中島維市の三氏は三十日入港の御用船安平丸にて內地より來釜同夜十一時發列車にて大邱へ赴任せり(釜山)

## 人事消息

▲渡邊管一氏 近く小松原氏に依りて創立さるべき雜誌社に入社することに決し來る八日頃京城發東上すべし

▲飯田節吉氏(會社員) 一日夜着京

▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商議會頭) 同上

## 南言北語

歐洲では[illegible]らず獨探が到る處で跳梁跋扈し[illegible]國共大に手古摺つて居る▲英國などは殊に甚しく女中なども油斷が出來ぬ▲其れと云ふのは近來各國の女中が揃ひも揃つて獨逸の女はドシ〱敵國に獨探となつて入り込むからだ▲彼等は孰れも白耳義人だと稱して第一人の家庭に住み込んだ▲倫敦の或る武官の宅に奉公した新參の女中に若い女があつた▲主人が外出すると何時も頻りに其の出先を問ふので此奴不審と睨んだ▲處が此の女は白耳義の田舍生れで獨軍の蹂躙を避けて英國に來たと云ふ▲生憎主人は大の白耳義通だつたから早速白耳義の田舍言葉で話しかけらるゝと▲件の女中も眞ツ赤になつて一言も答へず何時の間にか逃げ出したが之れが女獨探だつた▲島田三郎君などから支那浪人や支那の日本志士又は滿蒙に於ける質問が出て日本人などの事に關し二十六日の議會を賑はしたが▲憲政軍中無比の鬪將たる尾崎行雄君の舍弟が日本志士として支那に居る事は諸君餘り御存じはあるまい▲容貌などは行雄君と瓜二つだが行雄君とは反が合はず盛に活躍して居る▲人々が注意すると舍弟君は『あれは己の愚兄だ』と澄したものだ▲愚兄とは酷いと云へば『兄貴から見れば己は愚弟だらうが己から見れば愚兄サ』は面白い▲現に舍弟君は志士中でも重きをなされて居る▲下院の長老藏內著炭老今議會の劈頭年長者の故を以て議長に挨拶のテーブルスピーチをやつて年來の目的を達したと大喜び▲著炭老はテーブルスピーチをスペートと稱するが其れでも當年七十一歲其の馬力は壯者を凌ぐ▲議場で摑み合ひ位は何でもないが不審なのは同人は今迄他人に肌を見せた事がない▲唯一人見せるのは孫の樣な新橋の愛妾だ▲何でも背中一面に登り龍降り龍の刺青があるからだとの評判

## 大阪より

支局記者

▲久原の事業

[illegible]口縣都濃郡下松町大字鯉ケ濱より太華村字厨川に到る鐵道以南一町三村に亙る[illegible]九十萬坪の地を買收しこの工事を七月より着手し一箇年に竣工の見込である、第四期工事に至りて三百萬人を擁する市區▲之に要する固定資本實に一億圓にある、實に我邦未曾有の盛んなる經營を云ふべきである。[illegible]發を志し大計畫を樹立し發表したのも淺からぬ縁故を有する譯で[illegible]ることになつたのである二十方里の笠戸灣に抱擁され水深七尋乃至十尋に達し風光明媚東方に笠戸島西に大島半島を望み天然[illegible]さるゝ曉は[illegible]田を失ふ如きは松町會が全會[illegible]惜むべきでない、新計[illegible]▲歐[illegible]僑し[illegible]ない概[illegible]じてゐる。光復後新興日本の運命を左右[illegible]のは鐵と船である。製鋼造船[illegible]偉業である、土地の開發、工業の進[illegible]貢獻する處頗る大なるものあるを認めねばならぬ、一大快事である


朝鮮及滿洲 七月號出づ（第百二十一號）一月一回發行 一部卅五錢（郵稅二錢）

●編輯室より ……旭邦生

●南鮮瞥見記 ……旭邦生

●南北支那の史的觀察

●鮮滿鐵道と諸問題

▲新舊人物月旦

●八淵蟠龍師の講演を聽く

●英國及獨佛と伊太利加經營

●歐洲交戰國軍事經濟の近況

○滿鐵道統一に就て國澤滿鐵副總裁と語る

●帝國の海外發展と制海權

●英領印度と佛領印度支那

●紙上菩薩

●朝鮮新議員評

●名士と庭園

●東萊溫泉より海雲臺へ

▲蒙古探險記

●朝鮮の人物

●朝鮮の六大溫泉とラヂウム含有量

●大當りの鑛山譚 天來生

小說 男を試驗する女 岩波

發行所 京城旭町 電話二五〇番 振替京城一三一 朝鮮雜誌社



婦人公論

不良少年考察の一面（倉橋高）

一匹の蠅から恐しい病氣の傳染（宮島醫學博士）

愛すべき螢の話

少年悲劇（性慾の發動に伴ふ危險）

店頭から

娘の讀むべき書物

六十名士の回答 世の父兄は娘に[illegible]

醫學上より觀たる婦人職業問題

月夜の琵琶湖

夏の中禪寺湖

「うその話」

議會は今開けてゐる（吉野作造）

飲料水の話（家庭科學）

秘めたる戀

蹂躙されて

春宵記

朝顏

東京 中央公論社



イケダ小兒病內科醫院

池田季雄

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院）一三四三（自宅）八八〇番



優等清酒

一鶴

京城本町二丁目

發賣元 本莊酒店

電話六五四番 振替京城六二〇番



當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

振替貯金口座 京城三三二番

電話 （長）三三二、三三三、（局）一六一、一六〇、一六一

支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、

出張所 長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

…久原房之助氏は…新たに工業都市建設とも云ふべき一大事業の計畫を發表した、その梗概を記すと…に製鋼、第四期に鐵工所を建設…と云ふのである。▲第一期…松町の…より同町東…大工業都市建設をなさんとするのであ…ろ、されば兩家發祥の地として郷土…陽線に沿ひ一…をなし、…久原家新事業の下に工業都市の建設…とする施設の大抱負の偉は…

…獨のクルップ若くは…宗家たる故藤田傳三郎男出生の地は實にこの下松町の東端鯉ヶ濱であ…を東に距る三哩、人口は五千…▲この地元來製鹽の特産地であるが…合すれば廣袤約…二百萬坪に及ばん…方に…一大造船及び製鐵事業を…起しある先見の明は實に…事業として之が發表を幸慶とするも…の敢て過賛ではないのである。

◆水邊□□□□眉剃れば風薰る恣冷たけれ□□□□（湖涼里にて）

# ◎其の美景、其の感慨
## ◦◦◦白馬江上、百濟の古都扶餘を訪ふて◦◦◦

五道踏破旅行記者　春園生

扶餘の地、一草一木何か歷史を語らざるものぞ。足一たび扶蘇山に入れば荒凉たる靑草の間一面瓦の破片の散らばりたるを見るべし此こそはげに三國時代の花にして一百五十年の榮耀を極めたる百濟の王城泗泚城のかたみにて候へ

◆此こそはげに御懷の香に　懷りたるもの、此こそはげに

南薰殿の太平曲に慄へたるもの。其の夜、千二百五十年前の其の夜、羅唐聯合軍の一炬によりてあたら九重の宮居の灰燼となりし其の夜、天を衝く焔に煽られて哀れなる最後の呻きを發しつゝ中空に飛びたるはげに此の瓦、春風秋雨幾星霜治亂興廢幾代今や悠々たる白馬江の亡國恨に咽び連綿たる脊陽の連山白雲を送迎するを見るのみ。

◆落花の王殿ないや深く　百花の御苑麥とは化し去る

此の時に當りひとり當時の榮華當時の悲慘を語るものとてはげに此の瓦の破片のみにて候。太后太子を伴ひて夜半熊津に蒙塵し玉ふ義慈王の怨恨、榮華の夢醒もやらぬに黑煙に暗き迭月治の月の下落花巖上に花と散りて泗泚水中泡と消ねにし嬌艶花を紿く妃嬪等の血涙間へば語るはげに此の瓦の破片にて候。小生はめて哭かんとすれば可ならず、泣かんとすれば婦人に近しまでは行かずこも感慨交々臻りてなす所を知らず

◆扶餘市の最高峯たる扶蘇山の　半腹に泗泚古城の殘墟あり

感慨無量とは此の事なるべく案內の憲兵補助員を顧みれば彼は何を思ひたるにやにやりと笑ふのみにて候。此處はなにがし殿、彼處はそれがし宮、恐らく彼の平坦なる處は大宮人等が蹴鞠の場ならん等取止めもなき想像に耽れば鳥は現在を去りて遠く千二百年前に泗泚城中の榮華を眼のあたり見る心地致し候。

◆朱瓦の詩情歷然そこに　綠竹苔蘚の宥もいとあはれに

白馬江上に林立せるは江南天竺の商船。されどあゝ眼を開くれば其は一場の夢にて眼前に横れるは此の瓦の破片のみにて候。扶蘇山の位置も可、形も可、遙かに繞れる連巒の態の姸きも又可、餅に弧を畫きて音もなく流るゝ泗泚水は尤も可、江山はよし、江山は美なり。此の江山には此の主人なかるべからず。此の江山の主人は只文雅なる百濟人あるのみと存候

◆已に百濟人なし、江山誰が爲に　年々歲々容を飾る

あゝ無常なるは人事にして無情なるは江山なるかな、古臭き套語なれども此の時此の處此の句を置いて外なしと存候。杖を扶蘇山の東端に引きて倉庫の燒跡を吊ひ更に踵を返へして千仭の絕壁を辿り盡せば、女王が國運の萬歲を祈りたらんと思はるゝ皐蘭寺にて候。階前の老松には鵲巢を造り水邊の垂楊には黃鶯友を呼ぶ。寺は少けれども風景實に絕佳。其處より巉巖に倚り碧巖に攀ぢて危き鳥徑を匍ふこと數十步。

◆脚下には白馬江の蘇水岩に　激して咆哮し　頭上には千仭

の蟻岩天を衝きて聳ゆ。此こそは名にし負ふ落花岩にて候。ポタリ〳〵と岩頭より滴るは眞逆其の夜の宮女の血にはあらざるべし。万古の快作たる平濟塔の美術的價値は已に定まりて動かず。水北亭の絕景、天政坮の奇勝も千里來りて相尋ぬるの價は十分あるべくと存候。（つゞく）

# 東京大相撲
## ＝三日目＝
### 秋山大將の來觀　敷島會員の總見

▲一日の三日目は日曜とあつて土間には學生が頗る多く何處を見ても人で一杯で全く爪も立たぬ入、午前中に大入客止めの札が出た▲棧敷には料理屋待合屋連中から組織された敷島會の總見があつて中入後敷島が大兵の若島と大相撲を取つて首尾よく勝つた時にはワアツといふ騒ぎ▲歩く事さへ出來ない程ギッシリ詰まつた棧敷の何か何やら判らない中に紺背廣に輕るさうなパナマ帽を戴いた秋山軍司令官が白詰襟服の野津副官と共に扇をパチつかせてゐたのが眼を惹いた

▲總督府切つての好角家青木內務課長も此日始めて姿を見せた、塲內は途中にあるやうな蒸暑さに白扇の閃めきは暫時も止まなかつたが棧敷の客で思はず肌脫ぎになつて頭からポッポと湯氣を立てゝゐるのを警官から注意された人さへあつた▲本社の寄付き五人拔きは幕下の血氣揃ひが集まりして互ひに火花を散らして戰かつたが、結局前の晩東京から著いたばかりの元氣者火打洋が美事に拔いて終つた▲同じく本社の清瀨川土州山のお好みは前日の取組に預かりとなつてる相撲だけに觀客一同非常の興味を以て迎へられたが土州山の勝となつた

値賀浦　小松潟
太刀ヶ峰　若虎
若太刀　鶴泉
太刀湊　若熊
太刀の海　甲斐山
室戶崎　遠州洋
燧洋　龍ヶ瀧
友渡り　友の山

三國山　浪花山
登浪山　岩ノ戶
鞍ヶ嶽　軍扇
友鶴　相の浦
若嵐　金の鯱
和合の浦　小嵐
筑後川　太刀光
太刀嵐　曾根松

▲中入後

四國洋　荒玉
矢筈山　國見崎代太刀嵐
清瀨川　紅葉川
敷島　若島
伊勢の濱　黑瀨川
太刀山　土州山

右の內▲四國洋に荒玉は立上るや荒玉より仕かけ右差しとなり布袋腹を突きつけつゝ煽つて寄り西溜りに寄りつめ一氣に寄らんとする刹那四國危く殘して打棄つての勝は措しき角力▲國見崎代太刀嵐に矢筈山は立上り太刀が二本差となり無二無三によみ込み敵の力を利用して矢筈巧みに土俵を廻り上手投を打つて勝▲紅葉川に清瀨川は本日屈指の好取組なり紅葉の辭にて立上り清瀨独砲を連發しつゝ寄るを紅葉素早く敵の懷に飛び込み左上手を引けば清瀨勝手惡しと突き放すと見せて掬ひ投を打つての勝は大喝采▲若島に敷島は立上り敷の二本差となり鋭く寄るを若ひに防ぎ、二三回吊りをせり合ひ嘗時土俵の中央に仁王立となり互に隙を窺がふ內敷勝手惡しと左筈を拔き右四ツとなり一氣によれば若土俵を廻つて水となり水入後若手を拔き下手投を打つ際思はず手を突いての負▲伊勢の濱に黑瀨川は立上り黑瀨左差にて下手投を打ちしが伊勢殘しつゝ吊出して勝▲太刀山に土州山は立ち上り土州飛鳥の如く飛び込み足取りに行くを太刀押へつけ右手を取つて突き放せば土州土俵外に飛ぶ

◇大相撲スケッチ＝三日目＝

## ◎鳳城縣暴動　農民解散

一時猖獗を極めたる東邊道鳳城縣龍王廟一帶に於ける農民の暴動は馬鎭守使以下多數の軍隊出動鎭撫に努めたる結果漸く解散せるより鳳凰城より派遣せる砲隊も一日午前十一時歸還せりとの報あり（安東縣特電）

## ◎高女生徒の同盟休校

島根縣立濱田高等女學校寄宿生全部は寄宿舍監督敎員との間に軋轢を生じ同盟休校を爲し各々郷里に歸れり（大阪特電）

## ◎白晝强盜捕はる

京城新橋洞林聖辰（二〇）は目下入獄中なる外一名と共謀し庖丁及び拔銃拳を携へて本年一月七日白晝京城茶屋町質屋李源泰方に侵入し源泰を縛り上げ脅迫して一圓十錢を强奪し其後外數箇所にて衣類雜品等を竊取して徘徊中を此程鍾路署の手に捕はる

## ◎遊廓で大立廻り

平壤府居住高泰善（二二）羅希奭（二〇）仁泰淳（二二）劉時鳳（二〇）金錫俊（二〇）洪好深（二九）の六人組は去る二十三日の節句休みに牡丹臺の箕子陵附近にて酒宴を催し日暮れて竹與里の娼家を素見し近脅付く內市外大に面生れの楊鳳鉉（二三）外一名の者が素見し居るに出會し此の中の劉が「何だ田舍者」と罵りたるに楊も默つて居らず口論の末大立廻りとなり六人して二人を袋叩きにした上更に携へ居たるビール瓶にて楊の頭部を毆り大負傷を與へたる騷に六人共平壤署に引致さる

## ◎嬰兒密殺

平南平原郡肅川面新興里崔興德（四〇）といふ寡婦は多數の男に關係したる結果四月十五日女兒を分娩したるが世間態を恥ぢ件の嬰兒を其儘古蒲團に包みて窒息せしめ夜陰に乘じて其の屍體を附近の小川に石を附けて流したる事發覺し遂に六月二十二日憲兵分隊の手に檢擧せらる

## ◎棍棒で亂打

京畿道始興郡南面富谷里趙秉敎（四八）同里安敬石（四一）兩名は五月二十三日夜水原郡半月面草坪里趙熙頌方に侵入し棍棒にて家人を毆打したる上藥罐にて縛り上げ蒲團を被せて白米七斗外雜品を强奪して捕はれ京城地方法院の公判に附せらる

## ◎暴行者は三年

全南羅州郡細枝面稽山里曹得煥（三〇）は母姜二禮の縊死せしは同所李俊煥が母を罵りたる爲めなりと母の仇討と稱し李の家を燒き器物を叩き壞し現金を火中に投げ棄て倘出刄庖丁にて李を殺害せんとせし一件は殺人未遂として此程光州地方法院にて懲役三年の判決を受けしを不服として大邱覆審法院に控訴申立てたり

## ◎京龍庭球爭霸戰

△第一回戰は來る八日
△龍山側コートにて

京城庭球界の年中行事として好球兒の熱血を沸かしむる京城庭球俱樂部對鐵道俱樂部庭球部の本年度第一回戰は六月上旬開催の筈なりしも彼我の都合にて延期中の處愈々

△兩軍の陣容 整ひ來る七月八日（日曜日）午前九時より龍山鐵道俱樂部選手コートに於て戰端を開く事に決定成れり、抑々本競技は斯道年中行事中に於ける唯一無二の興味ある仕合にして三回戰を以て勝敗を決する規定の下に昨年春期より開始せられしものにかゝり多年個々に分立せる京城軍が幾多の經驗を統一し京城庭球俱樂部なるものゝ下に打つて一團となし以て多年城南の地に據りて斯界の覇を唱へし鐵道軍と對立するに至りし經路を有する者にして

△昨年の戰跡 を檢するに第一回戰は春季鐵道側コートにて開催兩軍未曾有の大接戰を演じ漸く京城軍凱歌を奏し秋季鮮銀コートに於て開催せる第二回戰には龍山軍惡戰苦闘僅かに京軍の一組を倒したるのみにて全軍將棋倒しに斃され僅に三組、不戰組二組てふ朝鮮斯界未曾有の記錄を殘して京城軍の大捷に歸し斯くて昨年は決勝戰たる第三回戰を行ふに及ばずして

△社元京城軍 の頭上に落、覇權久しく京城軍の手中に收められたるが龍山軍は一敗地に塗れて後鬱たる記錄を留めたるに感慨し捲土重來の時機を待つて選手の必死的練習となり三冬の嚴寒を征服し三伏の酷暑も物かはと…一年漸く臥薪嘗膽を試むるの機會に際會せる事とて選手の面上自ら必死の色あり…強敵日高商軍の來襲を一蹴し…南征北伐只皆今次の會戰に對する準備に怠らざる一方京城軍にては俱樂部の基礎年と共に鞏く同軍の首腦たる熊丸莊子戶ヶ崎井篠崎等一騎當千の勇將連を網羅し其他の…にて今回は出塲し得ざるべきも鈴木米田立見宮川等の同軍…以外新進の猛將…進手の練習亦昨年に陪徙するものある由なれば來る可き第一回戰は又しても…大激戰を演出するに至るべしと


寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版　亞鉛版
最も熟練せる技術と最も廉價に迅速と叮嚀懇切を旨とし御需に可應候
京城日報社寫眞製版部

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
內科　小兒科　入院隨意　無料施療す　每日五名を限り
醫學博士　古城憲治　醫學士　上野亮藏

質　大口歡迎　京城黃金町長橋町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

時計貴金屬　美術品裝飾品　仁川本町　糸岐商店　電話三七〇　振替京城一七一

蚊帳荷著　最安時期仕入格安提供　龍山元町　こまや　植西呉服店　電話四二八番

痔核。痔瘻。脫肛痔　裂痔。痔出血。直腸脫　特殊注射根治療法
本田醫院附屬　京城肛門病院　肛門病の話御入用の方は郵券十二錢を要す

內科、眼科　小兒科　本田醫院　京城黃金町三丁目　電話二四四三番　振替京城三二八番　院長　本田建…

てんかん　ヒキツケ　困難の方切手三錢で送れ永年の病いも自宅でなをす最良の良藥…　名古屋市中區南小川町　救生館

東京大相撲入場券割引　今回東京大相撲入場券を一割引にて販賣致可候間御希望の方は左記の所迄至急御申越被下度候　仁川宮町川仁鐵工所　販賣所　吉田

▲書籍案內▼
民友社發行　女義士傳　價五〇　郵八
村上浪六編　稻田一作傳　價七〇　郵八
桃川如燕　名婦傳　價六〇　郵八
早川貞水　赤穗義士傳　六冊各價四〇　各郵八
松林伯知　桃川如燕　御前講談　價一〇〇　郵一五
國民新聞社編　理想の家庭　價五〇　郵八
京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

醇良無双淸酒
無害衞生　品質無双
釀造元　福岡縣城島町　首藤合名會社
發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　電話長一一七一番
釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

內科　小兒科　村上病院　京城永樂町一丁目（品商陳列館前）　電話六一三番
院長　醫學士　村上龍藏　副院長　熊本醫學士　松下三雄

醫化學諸器械一式　仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城六七番
京城永樂町本町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

Ⓚ　藥種賣藥卸商

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラバロイド、ルーフィング
アスファルトフェルト
最上毛製屋根葺用（見本送呈）
朝鮮總代理店　京城本町三丁目（電話長四五番、二七七四番）　藤本藤次郎本店　振替貯金口座京城二五六番

文藝俱樂部　七月號
卯辰新地（小說）……泉鏡花
窪地（小說）……生田葵
七捕物帳　奧女中（探偵名話）……岡本綺堂
疵の癒ゆる迄（小說）……宍戶左行
裸體畫（小說）……川田祐明
しぐれ笠……松尾亂萩
封印切……鈴木春浦
物凄い辨天の窟（裁判實話）……木兔子
戀の小さん（講談）……今村一笑
御奉行と花魁　白洲の裲襠（新講談）……千代田錦鵄
各座評判
左團次評話
捨小舟（活寫見たまゝ）……松川太郎
定價金廿八錢　東京博文館

○大好評
天下一品奈良丸式活動寫眞　名優嵐離德出演
奈良丸高弟吉田奈良丸一口演
大石內藏之助山科妻子別れ　上下
後五日間限り來りて其妙技に感じ給へ　御見落なき樣
黃金館

# 花筐（四二）

松田竹の島人作

京子は沈んで、力のない語調で
『老爺の女が、其麼に艶飾して來たの、それから什麼して？。』
『參りますと、旦那樣は、別莊の留守を爲てくれ、決して不自由はさせないからと、それは〳〵御優しく仰るんでございますよ。それからずる〳〵べつたりに御妾のやうに爲つて了ひまして、旦那樣は一週間に二度位は屹と此別莊に往らつしやるんでございます。御庭掃除の女風情、それも堅氣の婦人なら未だしもですが藝者揚句のあんな婦人に、夢中に御成り遊ばすなんて、旦那樣は眞個に什麼かしてゐらつしやら爲ないかと思はれますよ。それですから何んだか旦那樣の御價値がないやうで、此頃は安ッぽいやうに見ねてならないんでございますよ』とお豐は徐々水をさして來た。
『鎌倉の御別莊に、呢と引込んでるなら、然う憎らしくもございませんが、時々上根岸の御宅へ參りまして死も奥樣振つて、妾達に指圖なんか爲るんでございますよ』
『呆れたもんだわねえ』
『何んだ彌吉老爺の女の癖にと思つてるでせう。ですから逐それが口に出るもんですから、妾を目の仇敵のやうに爲るんでございますよ。妾が奥樣扱ひに爲たら嬉しがるでせうが、構はないで付け〳〵言つて遣るもんですから、憎がつて仕樣がないんでございます。妾のことを何んか旦那樣へ申上げたと見えまして、旦那樣は豪い御見幕で妾を御呼びに爲り、都合があるから暇を出すと仰つて、とう〳〵御屋敷を出たやうな理由でございまして……旦那樣が悉皆彼のお琴に捲かれて居らつしやるから口惜しうございますよ。』とお豐が宛も口惜しさうに言ふと、京子は厭々しがつて、新月のやうな眉を顰めつゝ
『旦那樣は、御氣が什麼かして居らつしやらないぢやないだらうかねえ？。』
『眞個でございますよ。御暇が出たから、惡く言ふと御思召ちや困りますが、上根岸の御宅も、鎌倉の御別莊も、今ぢや贅でございますよ。それに旦那樣は御召使の前も御構ひなく、貴女樣の御着衣を御出し遊ばして、彼のお琴の奴に着せて、先達なんて自動車に乘せて帝劇に往らつしたぢやございませんか。什麼でせう奥樣、それ程に旦那樣は、彼のお琴の奴に惚氣切つて居らつしやるんでございますよ。』とお豐は嘘も嘘、嘘で堅めたことを言ふ。

京子は、夫が彌吉老爺の女を、妾同樣に爲てゐると田淵が言つたことがあつて、一時はそれを信じたが、田淵が不埒にも夫ある自分に戀を爲かけたので、其戀を遂げやう爲め、自分が夫に愛想をつかすやう、殊更に造つて言つたことだとばかし思つてゐたが、お豐が恁うい ふ以上、それは事實であつたかと思つて來た。
『然うして乳母は什麼してるの？』
『乳母さんでございますか。彼の人にも驚きましたよ。今まであんな人ぢやないと思つて居ましたが、人間ていふものは、解らないもんでございますねえ。今では彼のお琴の奴に痴哉變哉して、什麼かすると、御世辭に奥樣なんて言ふんでございますよ。ですから乳母々々と言つて、大の氣に入りに爲つてゐるのでございます。』
『乳母が其麼風に爲てゐるのかねえ。』
京子は、氣に入りで、そして忠義者とばかし信じてゐるお豐の言ふことであつたから、全然眞實と思ひ込んで、聞く毎に驚かぬはなかつた。

めし帶　あげ帶　半襟　片側帶　ゑり治　京城旭町一丁目　電話二五六二番
年期刺繍弟子十五名募集

山羊乳　諸官衙御用達　山羊牧場　京城獨立門東側　電話一七七二番

## 本野外相に同情

宮内省御歌所の千葉胤明氏は本野外相と同じ佐賀人で殊に同じ村の出身な相である◇二十七日青山葬場に外相母堂の葬儀に會し曰く外相母堂は八十と云ふ老齡でお子さんも皆揃つて立派ぢやが八十でも九十でも母の恩は忘れられるものぢやない、本野外相は帝國議會でアノ晴れの大演説をやる一方に家には母堂の柩が近親知友に取り圍まれて居た◇現にアノ大演説をやる前の晩など坊さんが通夜のお經を讀む其の後に謡んで通夜をした其の腹の中はどんなだらうと私はしみ〳〵同情に堪へなんだと

## 一日一句

明神に捺子と騷ぐ明易き　魚骨
花柿や夜は町に住む農園主　浩一郎
したゝか酒參る夜や三月盡　鳥兜
菜の花生けた落著な軸なり　瀬村

□京城俳句會　第七回—大正六、六、二七—

雷
川船の雷鳴によそ〳〵し　浩一郎
遠雷や岸曳く船の荷荷なる　同
彼ひて雷雨を走る馬車暗し　田打夫
雨未だ雷鳴る聞く夕かな　非水
浪がしら夜はなれ白むかな　青丘
遠雷や畑を急ぐ郵便夫　俚人
雷や渡舟二ケ處を見る平沙　橙黄子

裸
麻畑の夕風に立つや裸人　田打夫
碇綱月に捲き居る裸人　同
腹分けて舟押出すや裸人　同
沖の日照り裸と獨り釣る　草緑
帆綱引けば潮風疾き裸かな　浩一郎
簾吊るや腹動きゐる裸人　竹水
木の上にゐて裸子や泣にけり　豐堂
裸子の黒々遊ぶ川面かな　俚人
轆の火落して出し裸かな　橙黄子

□春川より　敎朗
灯を挾み語る二人や灯取蟲

## 讀者の領分

▲京城の市街は表通りはアスファルトだの人造石などを敷き詰めて成程立派なれども一歩裏通りに入れば話にならぬ有樣だそれればかりなら好いが市内に傳染病隔離所を置いて平氣で居るとは京城人の神經の遲鈍さに一驚を喫した（新移住者）▲京城では人力車も自轉車も勝手放題なベルやらラッパやらを附けて居るから道路を歩行中警戒に迷ふ例へば自轉車はラッパ人力車はベルといふ樣な風に一定したら如何なるものか（徒歩主義の一人）▲本町通りの樣な道路狹く人通りの多い場所を乘馬で通るのは危險で困る乘馬家は危險はないといふかも知れぬが大多數の人は危險を感ずるのである本町通りに限り砲兵憲兵の警邏の外乘馬を許さぬ事にしては如何（馬嫌代表者）▲先日の斷水に依つてあれだけの非難の聲の高かつたのも顧みず又何の通知もせず斷水するとは全く怪しからぬ交番に貼出してあると云ふ話しであつたがそれも見當らぬ爲に夕飯は幸ひもありつくことは出來たが明朝の分はその用意なかりし爲め如何ともすることが出來ぬ我々は其の當處に就いて大なる侮辱を感ずるものである大切なるべき市民を干乾しにする考か敢て問ふ（裏長屋の不平）

◉化粧品界一瞥　夏季は化粧品の最大需要期なるが今市内の信用ある化粧品店に就て聞くに近來化粧品界の競爭益々激しく中には成功を急ぐの餘り隨分不良面目の手段を弄する者も少からず需要者方面に於ても好奇の心に驅られて一時此等に向ふ者もあれど最後の勝利は結局著實なる者に歸する大勢にして彼の經營の堅實と品質の優秀とを以て斯界一頭地を拔けるクラブ化粧品は終始一貫化粧品王たるの地位を確保し各地共賣行益々盛んにして殊に生地まで白くなるクラブ白粉及び効力五倍以上の稱あるクラブ歯磨の如きは何れも天下一品と激賞せられ最近更に際立ちて賣行を激增せりといふ

◉近世實錄全書豫約締切　早稻田大學出版部にて豫約募集中の『近世實錄全書』は非常の好評なるが、同書物は實録物中有名なるものを以て何れの程度迄事實なるか容易に知り難し天一坊事件の如きも大岡の裁判事項とするは假託なれども郡木行の裁判事項にして架空談に非ざるが如き其一例なり今本書に於て毎編に史的考證を加へ共根據眞僞を明にし併せて其當時の制度、人情風俗等を說明せんとするは中々の盛業なれども極て有益の企なり、本月二十日限り豫約を締切り豫約外に販賣せずと云へば希望者は此機を逸すべからず

## 白楊會

□瑞巖上人歸山　碧樓
お留守にはたんとひろれないたしました
青梅と學期試驗のさなか
お居間の隅にて扇たゝしき
蚊帳をすゞろとつりまゐらする

花火
花火消えて闇にかへり床机かな　北居
遠花火聞きつゝ入る說教壇　容堂
夕顏に干しあり妻の茶の間に羞餅の香　柳城
夕顏や砧の茶店に客二人　北星
夕顏や砂に掃し去る他家の寺　會水
夕顏や女閉めゐる寺障子　容堂
螢
茶屋の茶櫃に螢の一路や螢飛ぶ　鶴城
螢追ふて車行く松並しつ草 かな　竹水
螢飛ぶや足に纏しは岸の草　北星

□瑞嚴上人歸山
火蛾暑し客去る後に掛すランプかな
山門の一樹にたいむ日傘かな
喧兵へ傾けて過ぐ日傘かな
病院を日傘又出る眞晝かな
家一杯あけて微風や釣葱

## 甲山銅山近況

五十二尺坑は五番坑まであり最底の坑道迄垂直五百二尺現在縦坑に据付のリッチヤーラット型單胴蒸汽巻揚機を使用し……尺深さ四百八十尺にして三十馬力……ある上製錬工場に送らる其量一日三萬貫以上なり其中の粉鑛は頂徑七尺五……りて兩者共に……水套式前者に……十四本後者に十本の……初めて粗銅となり型に入れて冷却さる之れが所謂銅型にして其一本は約……之に要する物資の製銅材料の搬入生……目下同鑛山從業人は約一萬人に達し……

## 對岸馬賊跳梁

……より尠きも猶數十名一團となりて人民を襲ひ財貨を略奪し兇暴至らざる……

毛髮の衛生に適し其の色澤を漆黑艶麗ならしむる
◎ミツワ椿油（みつわ・つばきあぶら）
MITSUWA
TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.
Mitsuwa Tsubaki (Camellia) Oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet.
Price 20 Sen, 30 Sen and 55 Sen.
本品は新鮮なる椿の實を以て精製したるものにして、從來の製造法を改良し、悉く皮脫を去り、強力なる水壓機にて冷壓法を用ひ、些少の熱をも加へずして搾取せる純良なる椿油なり、本品は普通の椿油と異り毫も苦味を含まず、透明無臭にして、毛髮の發育を助け垢脂の過剩を防ぎ、色澤艶麗且つ漆黑ならしめ、赤毛白毛に成り易き憂を除き、臭氣を發することなく、裂毛、折毛等を生ずる虞を去り、邦人の毛髮に最も能く適應する理想的完全の毛髮油たり。
定價　小壜……金貳拾錢　中壜……金參拾錢　大壜 五勺入……金五拾五錢　縫入 一合入 五合入……金貳圓五拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ
（現品縮寫圖）

贅澤で、經濟で、而して最も優良な
◎三百番香水（さんびやくばんかうすゐ）
定價　各種均一　小壜入 金五拾錢　中壜入 金壹圓五拾錢　大壜入 金貳圓五拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ
種類　ヴァイオレット（すみれ）　ローズ（ばら）　リリー（ゆり）　ムゲット（花の名）　モミサ（花の名）　ブーケー（花たば）
◎三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つ六種の香を發賣いたしました。更に追々色々な種類を發賣致します。
◎三百番香水は一壜毎に小壜の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになられる便利な香水であります。
（三百番香水現品縮寫圖）

本邦人の毛髮に適する模範的光澤香油として
馥郁たる芳香料とミツワ椿油とを以て構成せる
◎ミツワブリリアンチン
MITSUWA BRILLIANTINE.
Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine." It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.
Prics 30 Sen and 50 Sen.
定價　金參拾錢　大壜　金五拾錢　内地以外は關稅運賃を加ふ
本品はミツワ椿油を基礎とし、之に品質優秀香氣温雅の香水を配合し、尙特殊の技工を施し深奥の技工を施し創製したるものにして、男子の頭髮を分くるとき又婦人束髮の際、本品を振盪して用ふれば、毛髮の榮養を良くし、其の色澤を漆黑艶美ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與へ、能く頭腦を清新ならしむることを得、即ち本品は毛髮諸症の禍原を除き、更に毛髮の眞美を發揮するに缺くべからざる模範的美髮料なり。
（現品縮寫圖）

ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　規那鐵葡萄酒　肝油ドロップス
發賣元　◎丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目　藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號◎ミヤ、振替貯金口座東京七一〇番　營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

懷中時計　アンゲル製　優美堅牢

（ニッケル側）十八形（片蓋）二圓五十錢　……　[illegible]
右は今回當店著名の商品にて本商會は直輸入品なれば……御注文に對しては代金引換にて御送付致し候
自轉車、蓄音器、時計、ミシン機械、洋酒各國食料品直輸入商
イングレッソレー商會
本店　京城本町二丁目　電話九七二番

辯護士朴星煥
計音
豫て病氣の處藥石効なく六月三十日午後二時京城府積善洞百七番地朴斗榮方に於て逝去來七月三日午前七時南大門驛に於て永訣式を行同八時三十分同發列車にて大邱に到り自宅に於て葬儀執行翌四日大邱發午後一時釜山府水品洞山麓に埋葬可致候間謹告候也
男　弟　同　舍　友人總代
叔
容　正　斗　李　崔　金　崔　岩　朴
根　基　梧　田　三　元　海
元煥　榮澔　鎭錫　樓志　徹

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸　七月十二日後五時出帆
○立神丸　七月廿三日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○和歌浦丸　七月廿二日後十時出帆
○立神丸　七月十一日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸　月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸　毎月二日九日十六日廿三日（十四）午後十時出帆
本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行（關東都督府命令航路）
第廿共同丸　六月廿九日午後入港　七月一日前十時出帆
朝鮮總督府命令航路 阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）野口商會
元山代理店（電話二四四七番）田口回漕部
京城取次店（電話二六八・二〇七）河村運送店

朝鮮郵船出帆
京城南大門驛前松原運送店（電話長一七〇番）
○忠清丸　七月十四日　○京畿丸　七月二日　○柳川丸　七月九日　○成鏡丸　七月十九日　釜山發
○稷城丸　七月三日　○三浦丸　七月　日　○鏡城丸　七月七日　元山發
○慶寶丸　七月二日　釜山發
○蘆德丸　七月三日　釜山發
○江陵丸　○襄陽丸　毎日　釜山發　浦項發
○昌平丸　七月七日　釜山發
○濟州丸　○巨濟丸　毎日　釜山發
○統營丸
○平壤丸　七月五日　元山發
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
○南陽丸　七月　日　木浦發
○金海丸　七月七日　木浦發
○金州丸　七月二日　木浦發
○公州丸　七月四日　木浦發
○麗水丸　七月三日　仁川發
○晉州丸　七月九日　仁川發
○宗信丸　七月　日　仁川發
○全州丸　毎日午前　仁川發
○錦江丸

大阪商船仁川出帆
◎神戸、大阪行　△臺東丸　七月十四日　×汕頭丸　七月四日　△南都丸　七月二日　後二時出帆
◎神戸、大阪行　×汕頭丸　月　日　後五時出帆
◎木浦、釜山、原原、細の浦、長崎行　×安東丸　七月卅一日　×安東丸　七月十三日　後二時出帆
○横濱行　×漳州丸　七月　日　△福州丸　七月廿七日　後二時出帆
◎南浦行　×瀛州丸　七月十一日　△臺東丸　月　日　正午出帆
◎鎭南浦、大連行　×安東丸　七月八日　×安東丸　七月廿六日　後二時出帆
◎大連直航　×大州丸　月　日　△漳州丸　月　日
◎西湖津新浦城津清津行（元山出帆）宮島丸　七月十日　後十二時出帆
◎清津行（元山出帆）平安丸　七月二日　後十二時出帆
◎上海、芝罘、打狗行（大連出帆）北陸丸　七月廿三日　前四時出帆　基隆丸　七月六日　後四時出帆
御注意
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二二番、二二〇番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開典旅館　電話二六一番

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　七月廿六日正午出帆
高砂丸　七月五日正午出帆
三河丸　七月十五日正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話　番　回漕店

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸行
○君か代丸　七月八日後四時出帆
○大有丸　七月二日後四時出帆
○秀吉丸　七月　日後四時出帆
○神代丸　月　日後四時出帆
仁川海岸通一丁目　電話五十九番　高杉回漕部